

平成21年度につぼん食育推進事業
(主菜摂取改善対策事業)
効果測定結果

平成22年3月

社団法人 大日本水産会

目次

① アンケート結果概要		1 ページ
② 子供達の魚ふれあい体験教室 (小学生) (食育おさかな学習会)	(小学生)	3
③ 子供達の魚ふれあい体験教室 (成人) (食育おさかな学習会)	(成人)	15
④ 将来の栄養士等に対する魚食文化の普及・啓発 (食育おさかな普及学術研究会)	(成人)	26
⑤ 購入の場等における魚食機会の普及啓発 (食育おさかな祭り)	(消費者)	35
⑥ 購入の場等における魚食機会の普及啓発 (食育おさかな祭り)	(店員)	46
⑦ 魚介料理普及教室 (親子お魚料理教室)	(小学生)	56
⑧ 魚介料理普及教室 (親子お魚料理教室)	(成人)	67
⑨ 魚介料理コンクール (シーフード料理コンクール)	(成人)	79
⑩ アンケート用紙		88

平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「食育おさかな学習会」アンケート調査結果報告
 小学生

(1) 対象者の特性

対象者は、「食育おさかな学習会」の参加小学生。

総数：2359名

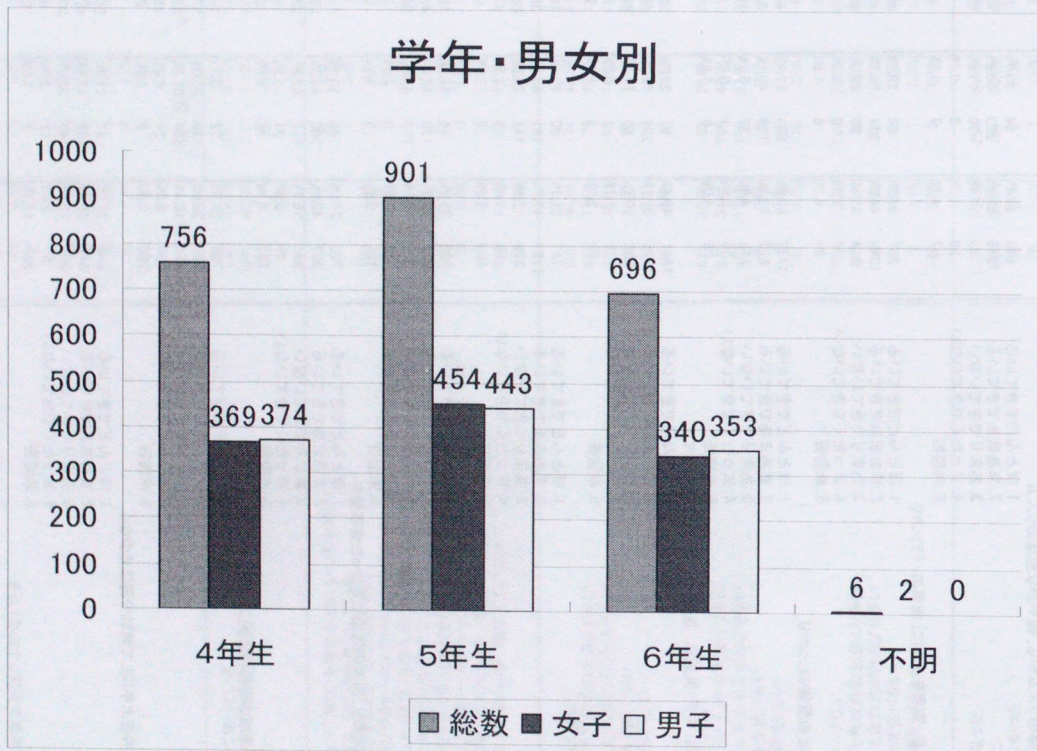
女子：1165名 (49.4%)

男子：1170名 (49.6%)

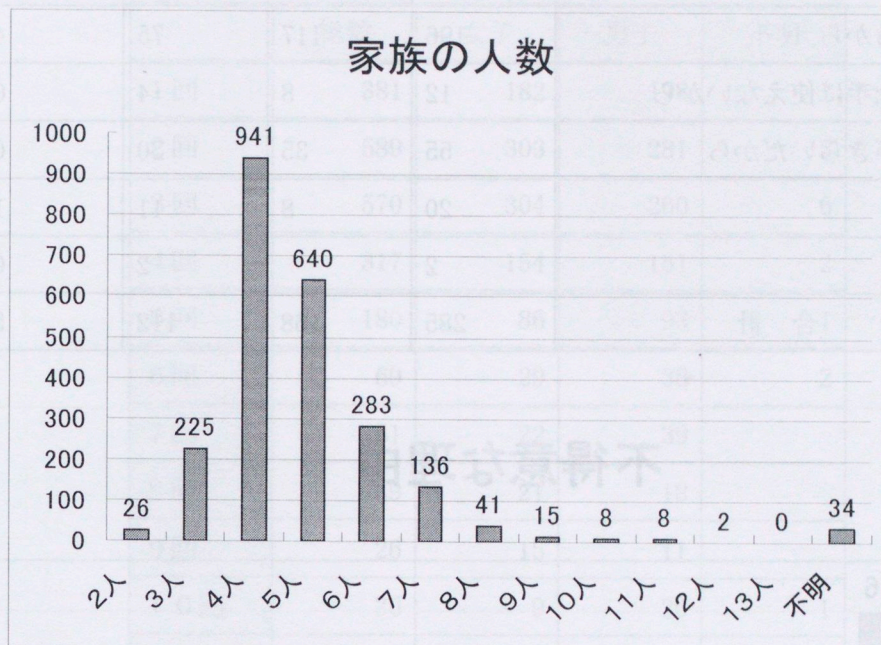
不明：24名 (1.0%)

学年別は表(グラフ)のような構成。

	総数	女子	男子	不明
4年生	756	369	374	13
5年生	901	454	443	4
6年生	696	340	353	3
不明	6	2	0	4
合計	2359	1165	1170	24



家族の人数は、グラフのようになり、4人家族が941名（39.9%）と多く、以下、5人家族640名（27.1%）と続く。



現住所は、以下の通り。

神奈川県	839
千葉県	936
埼玉県	584
合計	2359

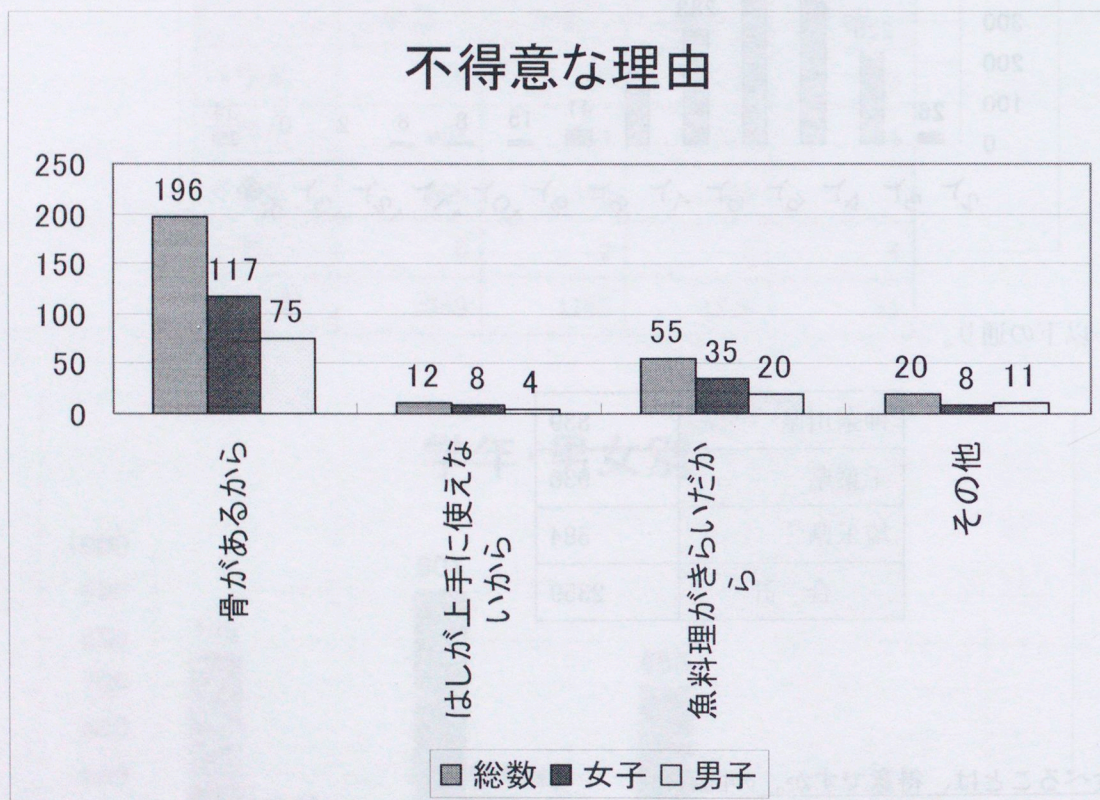
(2) 魚を食べることは、得意ですか。の回答は、

「得意」と946名（40.1%）が回答した。

	総数	女子	男子	不明
得意	946	394	546	6
不得意	269	152	112	5
普通	1068	587	469	12
どちらとも言えない	60	26	34	0
未回答	16	6	9	1
合計	2359	1165	1170	24

「不得意」と回答した269名の理由は、(複数回答)

	総数	女子	男子	不明
骨があるから	196	117	75	4
はしが上手に使えないから	12	8	4	0
魚料理がきらいだから	55	35	20	0
その他	20	8	11	1
未回答	2		2	0
合計	285	168	112	5

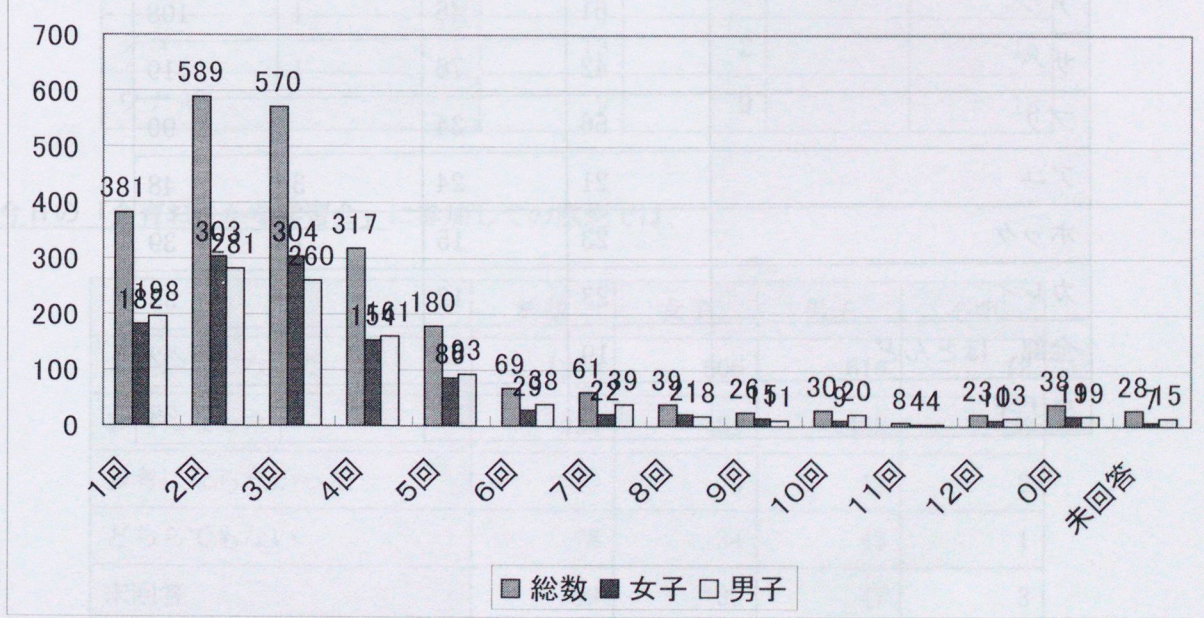


(3) 魚介類を食べる回数(回/週)は、の回答は、

全体では3.17回/週、女子は3.12回/週、男子は3.24回/週だった。

	総数	女子	男子	不明
1回	381	182	198	1
2回	589	303	281	5
3回	570	304	260	6
4回	317	154	161	2
5回	180	86	93	1
6回	69	29	38	2
7回	61	22	39	
8回	39	21	18	
9回	26	15	11	
10回	30	9	20	1
11回	8	4	4	
12回	23	10	13	
0回	38	19	19	
未回答	28	7	15	6
合計	2359	1165	1170	24

魚介類を食べる回数



(4) すきな魚料理、きれいな魚料理は、の回答は、

◎すきな魚料理

	女子	男子	不明	計
刺身	302	343	4	649
寿司	208	254	1	463
焼き魚	185	146	4	335
煮魚	59	51		110
みそ焼き、みそ煮	10	7		17
ムニエル	9	5		14
ホイル焼き	8	4	1	13
フライ	10	2		12
干物	2	9		11
海鮮丼	5	6		11
揚げ物	5	4	1	10

魚種では、以下の通り。

	女子	男子	不明	計
サンマ	85	99	3	187
サケ	120	63	2	185
マグロ	61	96	3	160
アジ	61	46	1	108
サバ	42	76	1	119
ブリ	56	34		90
アユ	21	24	3	48
ホッケ	23	15	1	39
カレイ	23	12		35
全部、ほとんど	19	13		32
ウナギ	8	17		25

◎きれいな魚料理

	女子	男子	不明	計
焼き魚	98	72	2	172
刺身	55	38		93
煮魚	46	38	2	86
骨がある料理	23	10		33
寿司	14	5		19

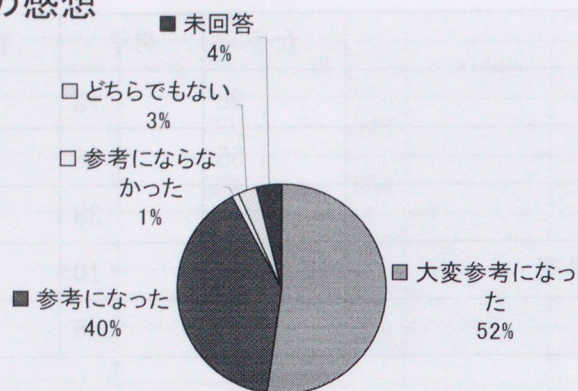
魚種では、以下の通り。

	女子	男子	不明	計
アジ	8	12		20
イカ	18	8		26
ウニ	17	11		28
イワシ	7	7		14
サケ	33	17	3	53
サバ	23	12	2	37
サンマ	36	26	1	63
シシヤモ	12	8	1	21
マグロ	13	8		21
全部、ほとんど	13	13		26
タコ	13	2		15
ウナギ	9	9		18

(5) 今日の「食育おさかな学習会」に参加しての感想では、

	総数	女子	男子	不明
大変参考になった	1234	606	616	12
参考になった	939	481	452	6
参考にならなかった	19	5	12	2
どちらでもない	78	34	43	1
未回答	89	39	47	3
合計	2359	1165	1170	24

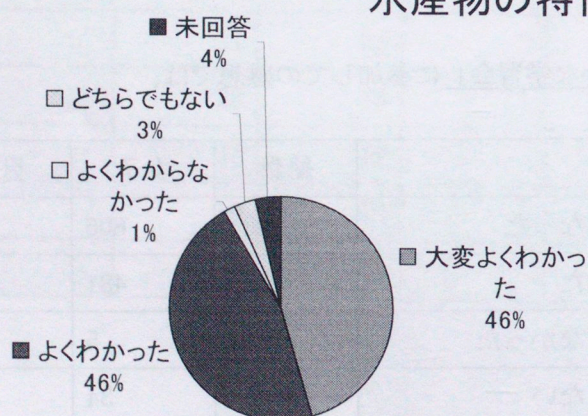
参加しての感想



水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについては、

	総数	女子	男子	不明
大変よくわかった	1075	454	616	5
よくわかった	1088	625	452	11
よくわからなかった	35	22	12	1
どちらでもない	78	32	43	3
未回答	83	32	47	4
合計	2359	1165	1170	24

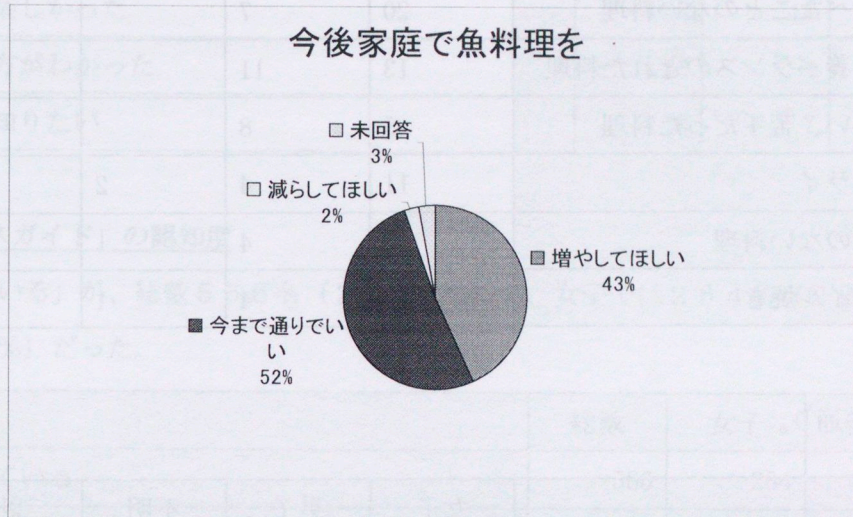
水産物の特性の理解度



今後家庭で魚料理を、増やして欲しいでは、

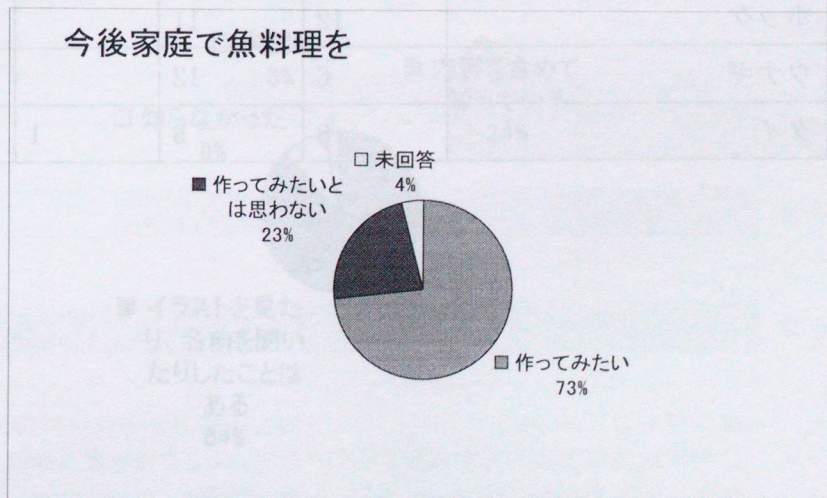
お肌様欲しいですの、食って家庭者全

	総数	女子	男子	不明
増やしてほしい	1018	503	511	4
今まで通りでいい	1211	602	595	14
減らしてほしい	55	27	26	2
未回答	75	33	38	4
合 計	2359	1165	1170	24



今後家庭で魚料理を、作ってみたいかでは、

	総数	女子	男子	不明
作ってみたい	1729	938	777	14
作ってみたいとは思わない	536	180	350	6
未回答	94	47	43	4
合 計	2359	1165	1170	24



今後家庭で食べてみたい魚料理は、

	女子	男子	不明	計
刺身	147	199	2	348
焼き魚	155	128	1	284
寿司	77	98		175
煮魚	81	43	1	125
美味しい料理	19	21		40
食べたことのない料理	20	7		27
栄養バランスのとれた料理	13	11		24
嫌い、苦手だった料理	15	8		23
フライ	11	4	2	17
骨のない料理	13	4		17
ホイル焼き	10	4	1	15

魚種では、以下の通り。

	女子	男子	不明	計
マグロ	24	47	2	73
サンマ	29	43		72
アジ	38	32	1	71
サケ	33	36		69
ブリ	16	15		31
サバ	8	19		27
アユ	13	11		24
ホッケ	12	11		23
ウナギ	6	12		18
タイ	8	8	1	17

意見、感想は、以下の通り。

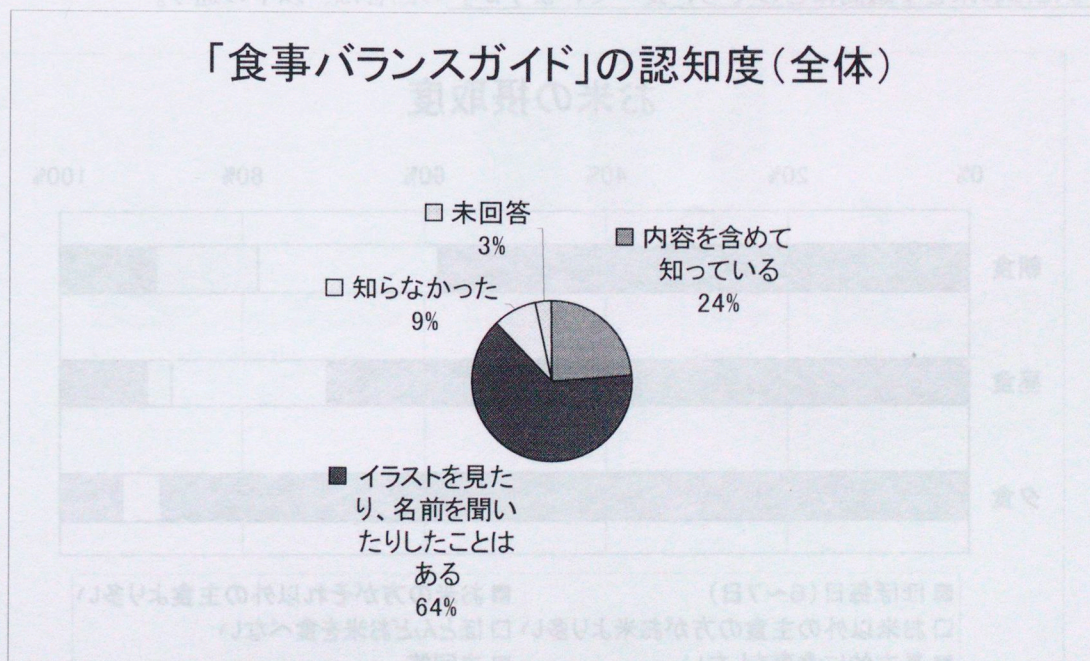
	女子	男子	不明	計
楽しかった、ありがとうございました、また来て下さい	105	77		182
魚にさわられて良かった	94	75		169
魚のことがよくわかった、勉強になった、良い体験になった	104	51	1	156
魚をもっと食べようと思った	38	21		59
魚の大切さ、栄養があるとわかった	32	24	1	57
ビンゴ、腹話術が楽しかった	25	18		43
魚の切り方、捌き方がわかった	16	4		20
魚のことをもっと知りたい	8	7		15

(6) 「食事バランスガイド」の認知度

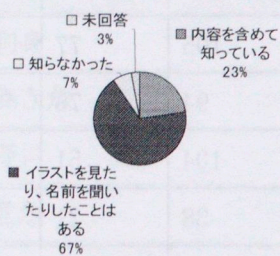
「内容を含め知っている」が、総数566名(24.0%)で、女子では264名(22.7%)、男子では264名(25.4%)だった。

	総数	女子	男子	不明
内容を含めて知っている	566	264	297	5
イラストを見たり、名前を聞いたことはある	1505	787	704	14
知らなかった	210	78	130	2
未回答	78	36	39	3
合計	2359	1165	1170	24

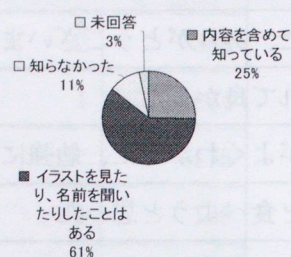
「食事バランスガイド」の認知度(全体)



「食事バランスガイド」の認知度(女子)



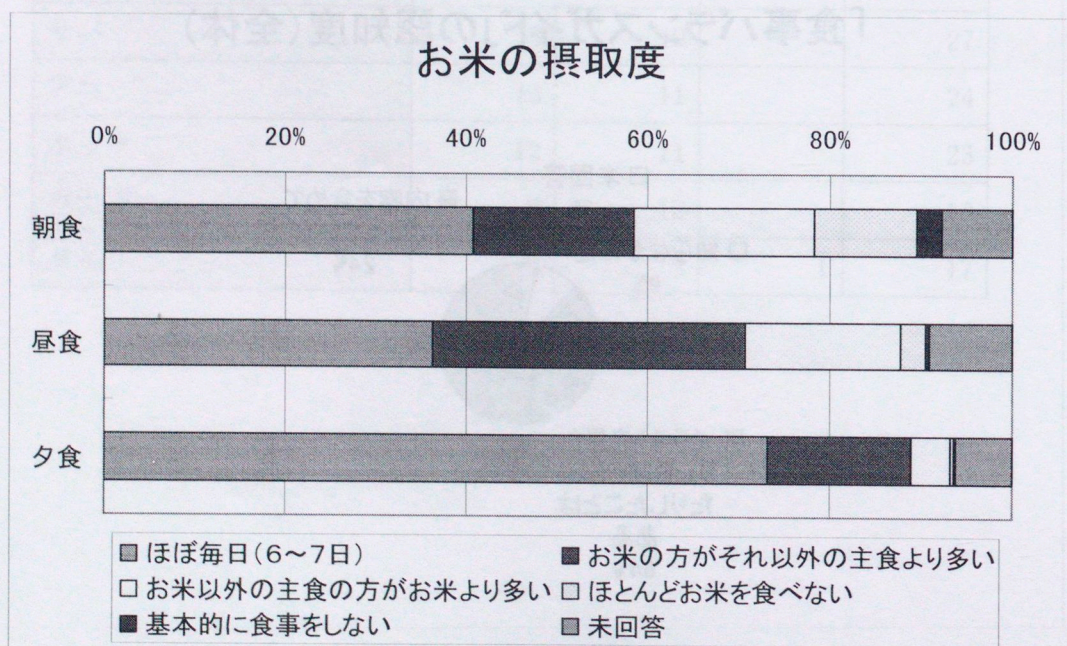
「食事バランスガイド」の認知度(男子)



「内容を含めて知っている」と回答した566名の「食事バランスガイド」をどのように役立てているかの一番近いものという問いに対しては、以下の通り。

	総数	女子	男子	不明
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	136	56	78	2
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	65	31	31	3
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	138	66	72	0
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	16	7	9	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	96	55	41	0
内容まで知ってはいるが、役立てていない	102	46	56	0
未回答	13	3	10	0
合計	566	264	297	5

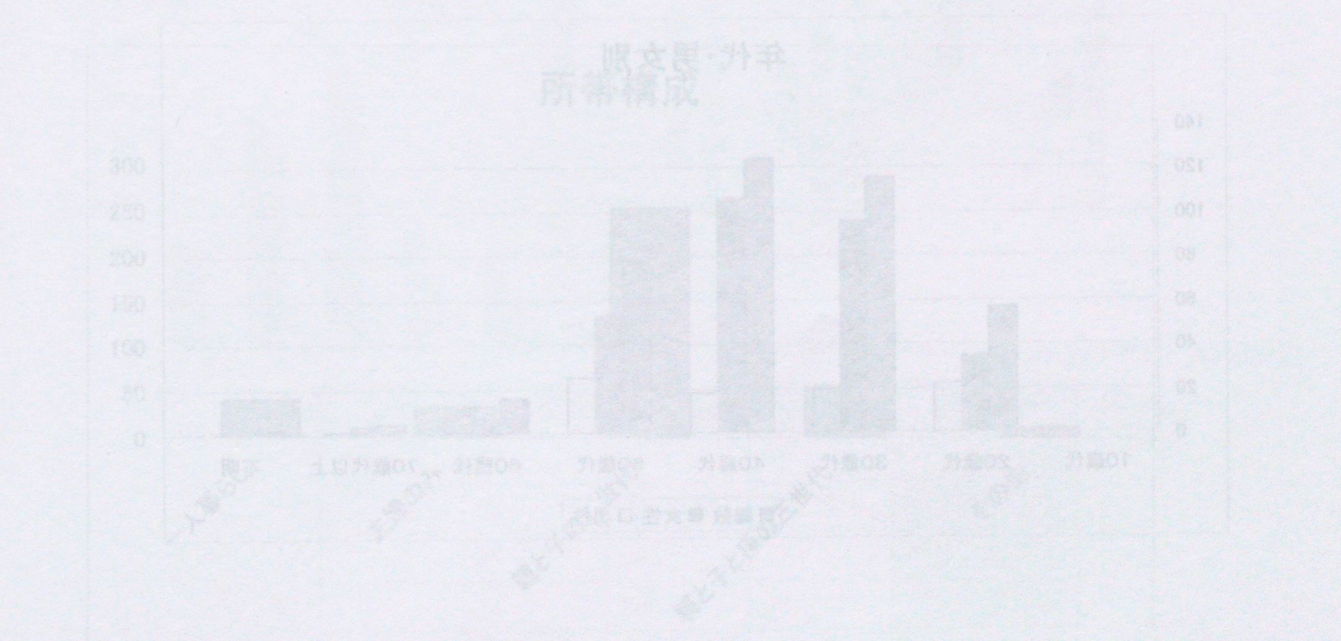
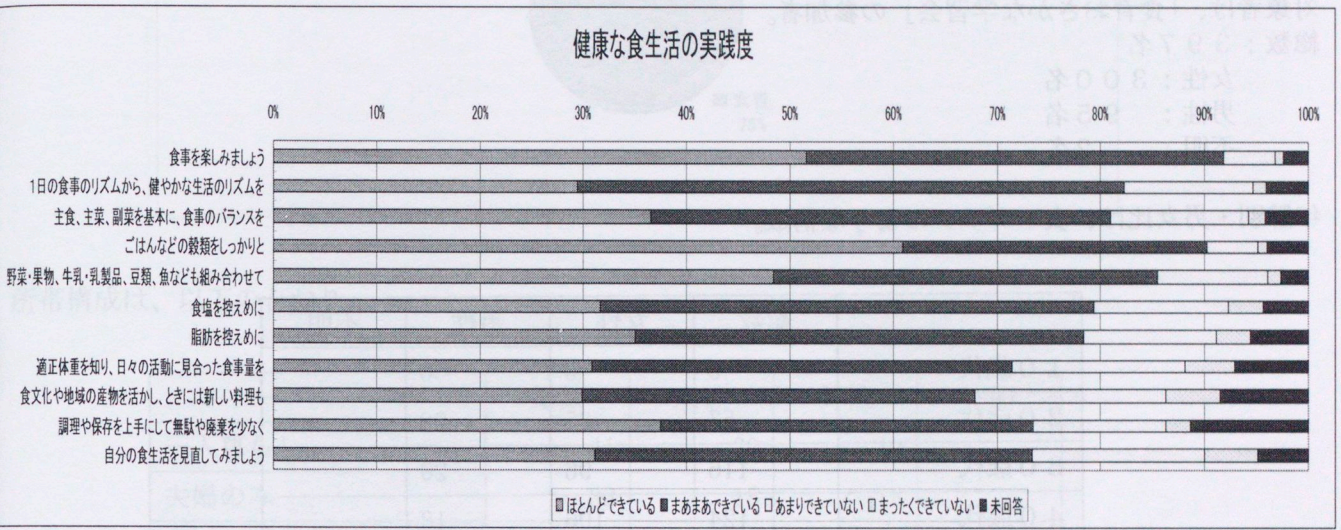
(7) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、以下の通り。



(8) 「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、

以下の通り。

「食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も」の項目を除く項目で「ほとんどできている」、「まあまあできている」で70%を超えている。



平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「食育おさかな学習会」アンケート調査結果報告
 成人

(1) 対象者の特性

対象者は、「食育おさかな学習会」の参加者。

総数：397名

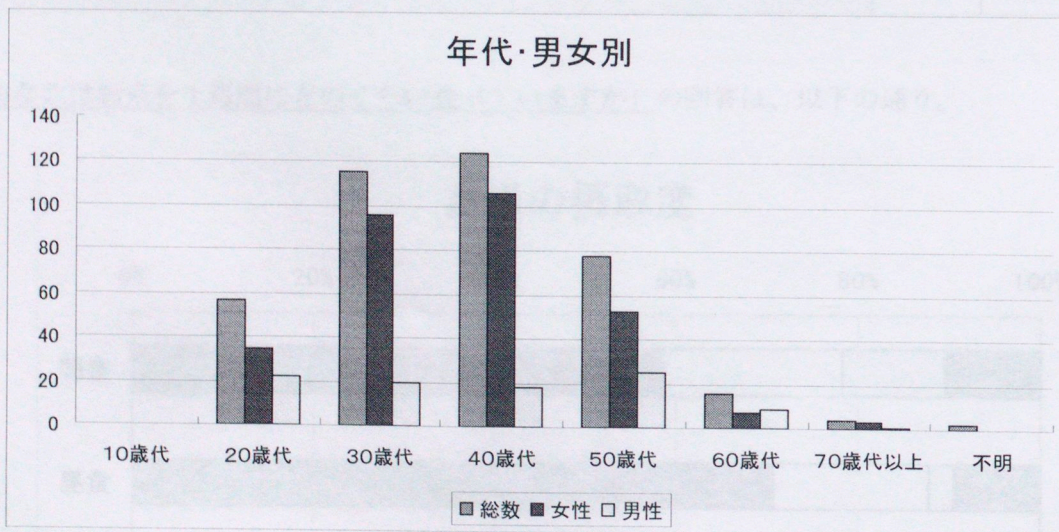
女性：300名

男性：95名

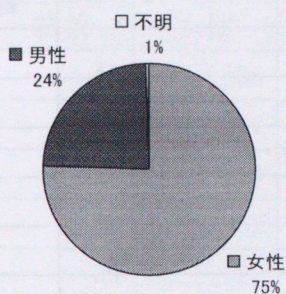
不明：2名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

	総数	女性	男性	不明
10歳代	0	0	0	
20歳代	57	35	22	
30歳代	116	96	20	
40歳代	124	106	18	
50歳代	78	53	25	
60歳代	16	7	9	
70歳代以上	4	3	1	
不明	2	0	0	2
合計	397	300	95	2



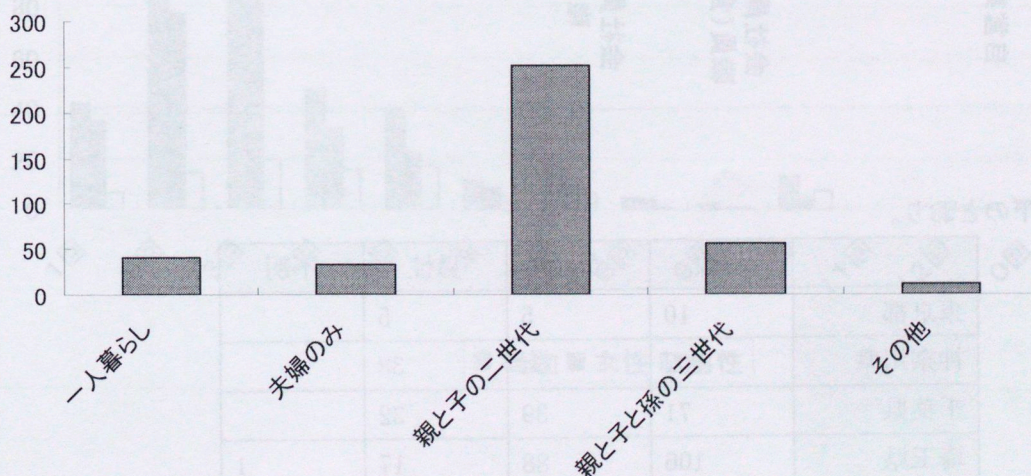
男女比



所帯構成は、以下のとおり。

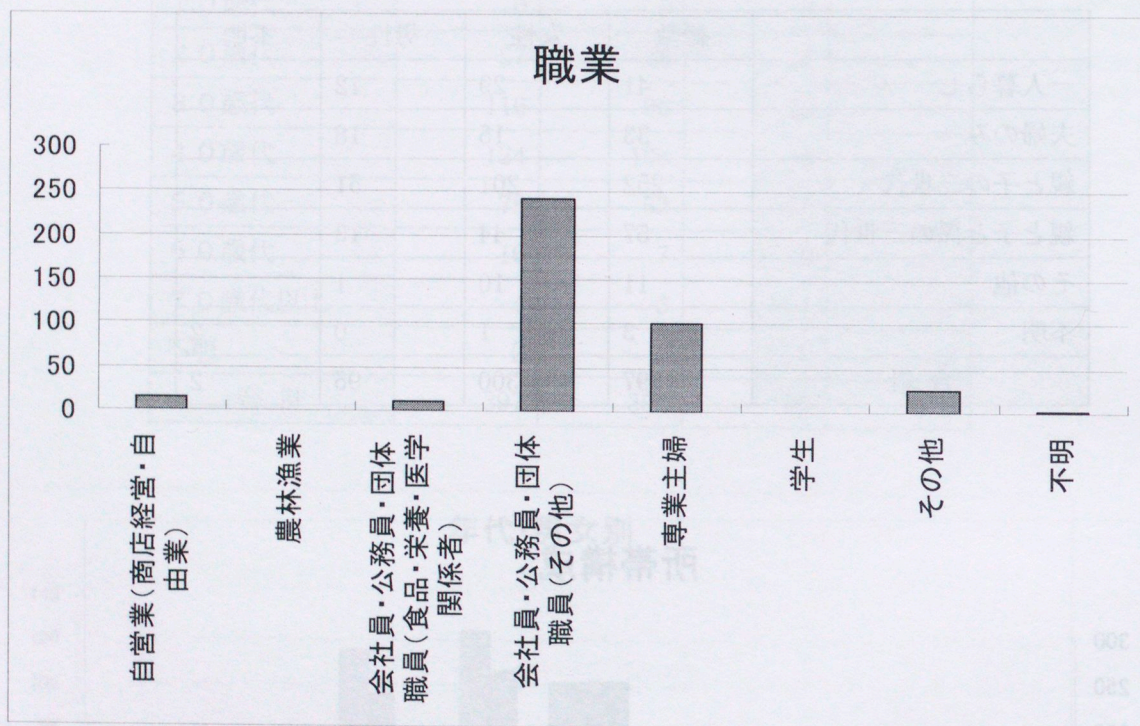
	総数	女性	男性	不明
一人暮らし	41	29	12	
夫婦のみ	33	15	18	
親と子の二世帯	252	201	51	
親と子と孫の三世帯	57	44	13	
その他	11	10	1	
不明	3	1	0	2
合計	397	300	95	2

所帯構成



職業は、以下のとおりで、学生が、99%を占める。

	総数	女性	男性	不明
自営業（商店経営・自由業）	14	14	0	
農林漁業	0	0	0	
会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）	11	9	2	
会社員・公務員・団体職員（その他）	243	156	87	
専業主婦	100	100	0	
学生	0	0	0	
その他	26	20	6	
不明	3	1	0	2
合計	397	300	95	2



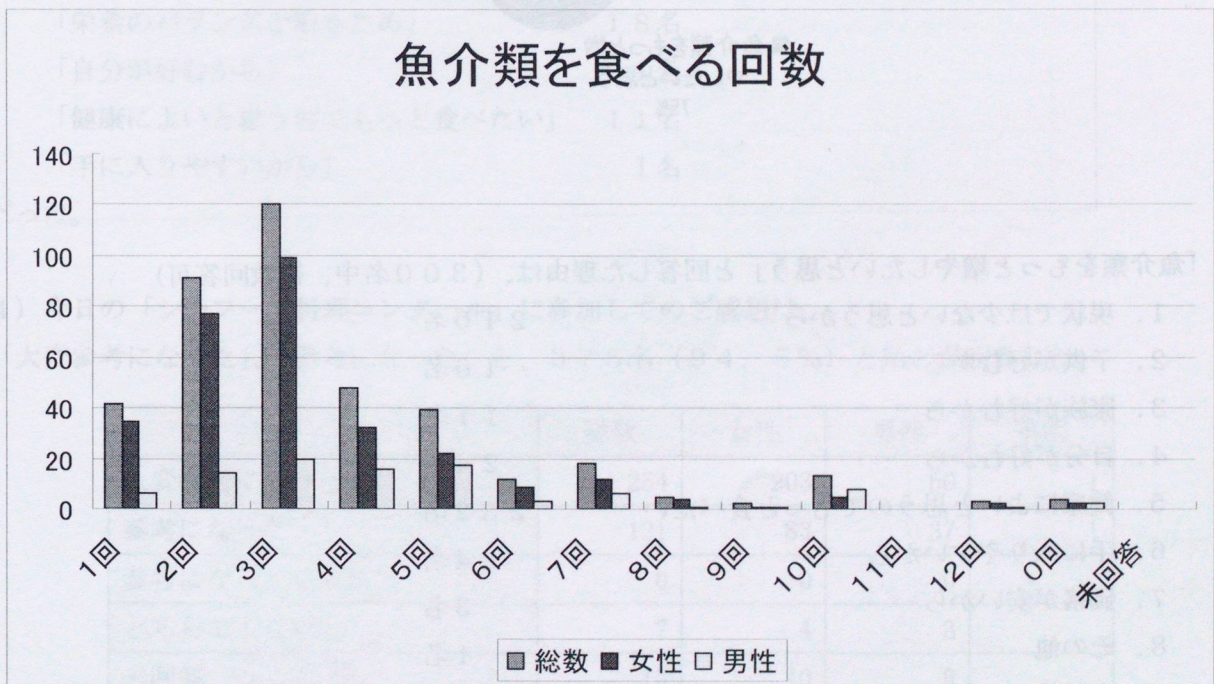
現住所は、以下のとおり。

	総数	女性	男性	不明
東京都	10	5	5	
神奈川県	202	164	38	
千葉県	71	39	32	
埼玉県	106	88	17	1
その他	7	4	3	
不明	1	0	0	1
合計	397	300	95	

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均3.51回/週、女性は平均3.26回/週、男性は4.34回/週と、男性の方が多かった。

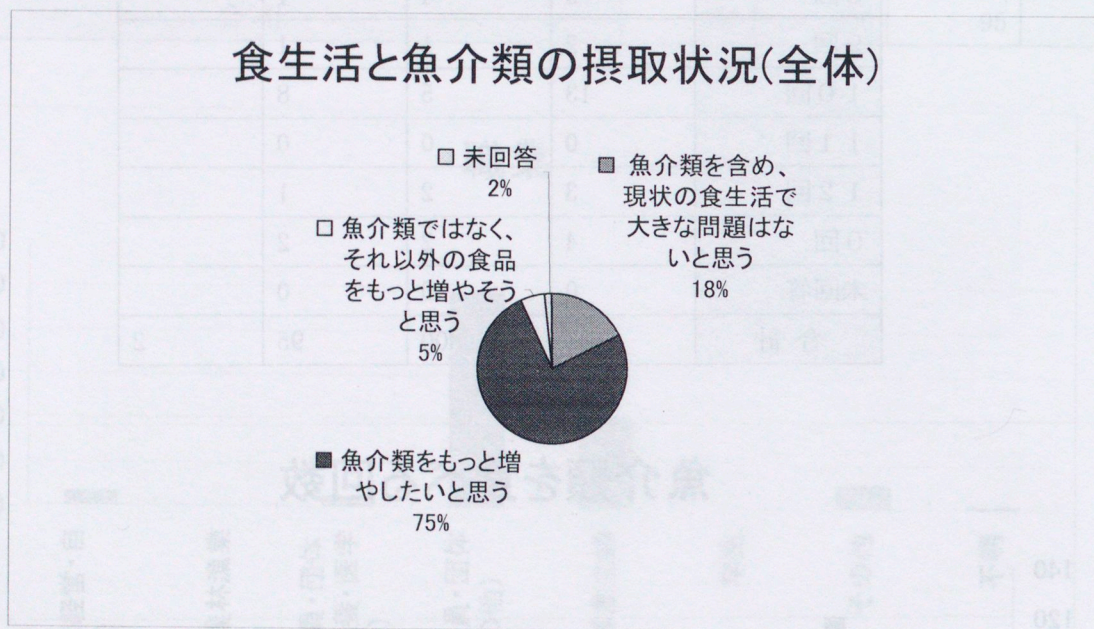
	総数	女性	男性	不明
1回	42	35	6	1
2回	91	77	14	
3回	120	99	20	1
4回	48	32	16	
5回	39	22	17	
6回	12	9	3	
7回	18	12	6	
8回	5	4	1	
9回	2	1	1	
10回	13	5	8	
11回	0	0	0	
12回	3	2	1	
0回	4	2	2	
未回答	0	0	0	
合計	397	300	95	2



(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況を見て、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が300名で、全体の約76%を占めた。

	総数	女性	男性	不明
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	71	52	19	
魚介類をもっと増やしたいと思う	300	231	69	
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	19	12	5	2
未回答	7	5	2	
合計	397	300	95	2



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(300名中、複数回答可)

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 現状では少ないと思うから | 210名 |
| 2. 子供が好むから | 16名 |
| 3. 家族が好むから | 17名 |
| 4. 自分が好むから | 24名 |
| 5. 健康によいと思うのでもっと食べたい | 232名 |
| 6. 手に入りやすいから | 4名 |
| 7. 価格が安いから | 3名 |
| 8. その他 | 1名 |
| 未回答 | 9名 |

と、「現状では少ないと思うから」、「健康によいと思うのでもっと食べたい」の回答が多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(210名中、複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. 子供が好まない | 92名 |
| 2. 家族が好まない | 13名 |
| 3. 実は私あまり好きでない | 22名 |
| 4. 価格が高い | 46名 |
| 5. 料理(調理)方法がわからない | 51名 |
| 6. 料理(調理)方法が面倒である | 82名 |
| 7. 食べるのに手間がかかる | 49名 |
| 8. 片づけが面倒である | 40名 |
| 9. 安全・安心が確認できない | 7名 |
| 10. その他 | 8名 |
| 未回答 | 9名 |

と、「子供が好まない」、「料理(調理)方法が面倒である」が多かった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した19名は、(複数回答可)

- | | |
|---------------|-----|
| 「肉類をもっと増やしたい」 | 0名 |
| 「野菜類を増やしたい」 | 20名 |
| 「ご飯や主食を増やしたい」 | 2名 |
| 「その他」 | 1名 |

と回答し、その理由は

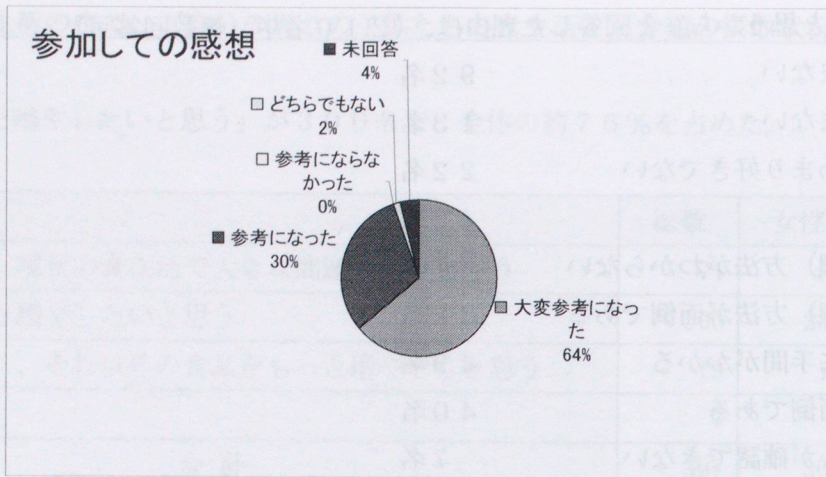
- | | |
|---------------------|-----|
| 「栄養のバランスを取るため」 | 18名 |
| 「自分が好むから」 | 1名 |
| 「健康によいと思うのでもっと食べたい」 | 11名 |
| 「手に入りやすいから」 | 1名 |

だった。

(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、

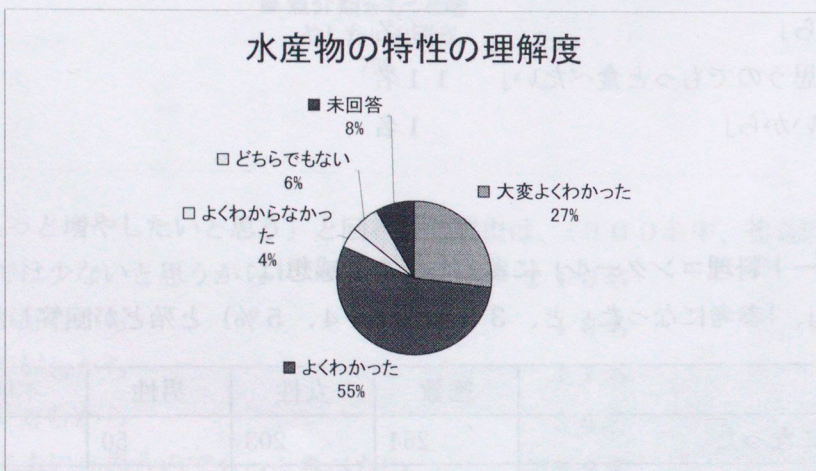
「大変参考になった」、「参考になった」と、375名(94.5%)と殆どが回答した。

	総数	女性	男性	不明
大変参考になった	254	203	50	1
参考になった	121	83	37	1
参考にならなかった	0	0	0	
どちらでもない	7	4	3	
未回答	15	10	5	
合計	397	300	95	2



「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には「大変よくわかった」、「よくわかった」と、324名（81.6%）が回答した。

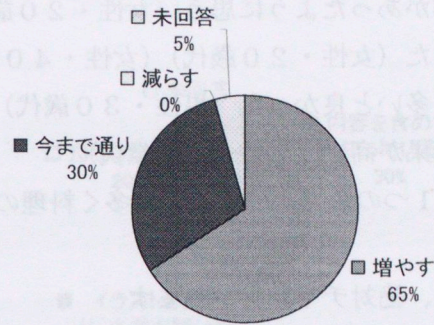
	総数	女性	男性	不明
大変よくわかった	107	78	28	1
よくわかった	217	162	54	1
よくわからなかった	17	12	5	
どちらでもない	24	23	1	
未回答	32	25	7	
合計	397	300	95	2



「今後家庭で魚料理を」では、「増やす」と、261名（65.7%）が回答した。

	総数	女性	男性	不明
増やす	261	217	42	2
今まで通り	118	73	45	
減らす	0	0	0	
未回答	18	10	8	
合計	397	300	95	2

今後の魚料理の増減



「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

	女性	男性	計
刺身	31	7	38
焼き魚	19	4	23
煮魚	54	5	59
ムニエル	3	1	4
フライ	4	0	4
子供が喜ぶ料理	4	0	4
簡単にできる料理	2	2	4
蒸し物	3	0	3
鍋料理	2	1	3
洋風料理	3	0	3

魚種では、

	女子	男子	計
青魚	4	3	7
タイ	3	1	4
アジ	4	0	4
イカ	4	0	4
白身魚	2	0	2

「意見」、「感想」は、以下の通り。

- ・勉強になりました、ありがとうございました（女性・30歳代）（女性・40歳代）（女性・50歳代）
- ・網を使い具体的に漁業の様子がよくわかった（女性・40歳代）
- ・子供たちの目が輝いていました、ありがとうございました（男性・20歳代）
- ・学校では独自開催できない行事であり、子供たちに貴重な体験をさせることができ感謝しています。（女性・50歳代）
- ・腹話術であきさせないようにして、魚の獲り方を教えてくれてありがとうございました（女性・40歳代）

(女性・50歳代)

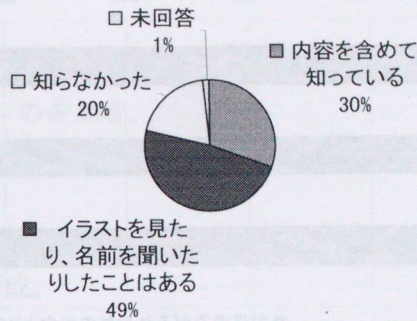
- ・お魚の話は、社会科(5年)の学習としてもよい(女性・50歳代)
- ・低学年には、少し難しい内容があったように思う(女性・20歳代)(女性・30歳代) 2
- ・タッチプールはいい体験だった(女性・20歳代)(女性・40歳代) 2 (女性・50歳代) 2
- ・タッチプールの時間ももっと多いと良かった(男性・30歳代)
- ・実物に触れることは、教育効果が高い(男性・50歳代)
- ・和・洋・中とも好きなので、1つの魚で、できるだけ多く料理のレパートリーを増やしたい
(女性・40歳代) 2
- ・お刺身の作り方を習ったので、絶対チャレンジします
(女性・30歳代) 3 (女性・40歳代) 3 (女性・50歳代)
- ・自分で捌いた魚を、子供に食べさせてあげたい(女性・30歳代)(女性・40歳代)
- ・楽しい料理教室をありがとう(女性・30歳代) 3
- ・難しい気がしてやらず嫌いでした、今後もっとやってみたい(女性・30歳代)(女性・60歳代)
- ・子供が喜ぶ料理を作りたい(女性・30歳代)
- ・子供や主人に感想を伝えたい(女性・40歳代)
- ・子供でもできる簡単な料理を教えて欲しい(女性・30歳代)(女性・40歳代)
- ・簡単なレシピなど、子供にも配れると良かった(女性・50歳代)
- ・魚の臭さをとる工夫が知りたい(女性・40歳代)
- ・魚売り場には、必ずおすすめ調理法を書いたものを置いて欲しい(女性・30歳代)
- ・どうしても動物性たんぱく質は肉類でとってしまいがちなので、少しずつ改めていきたいと思う
(女性・50歳代)
- ・国産うなぎが高くてなかなか食べられない、安くなれば良いのに(女性・40歳代)
- ・家族が多いと食費がかさむので、もっと安くて新鮮な魚を食べたい(女性・50歳代)
- ・子供の場合、コンビニ食は問題があると思うが、魚嫌い、野菜嫌いは問題にしすぎだと思う
(男性・60歳代)

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

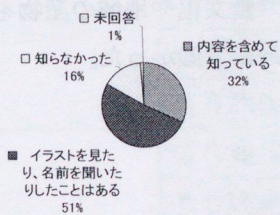
「内容を含め知っている」が、総数121名(30.5%)で、女性では96名(32.0%)、男性では25名(26.3%)だった。

	総数	女性	男性	不明
内容を含めて知っている	121	96	25	
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	190	153	36	1
知らなかった	81	48	33	
未回答	5	3	1	1
合計	397	300	95	2

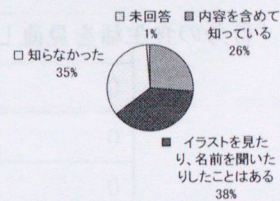
食事バランスガイドの認知度(全体)



食事バランスガイドの認知度(女性)



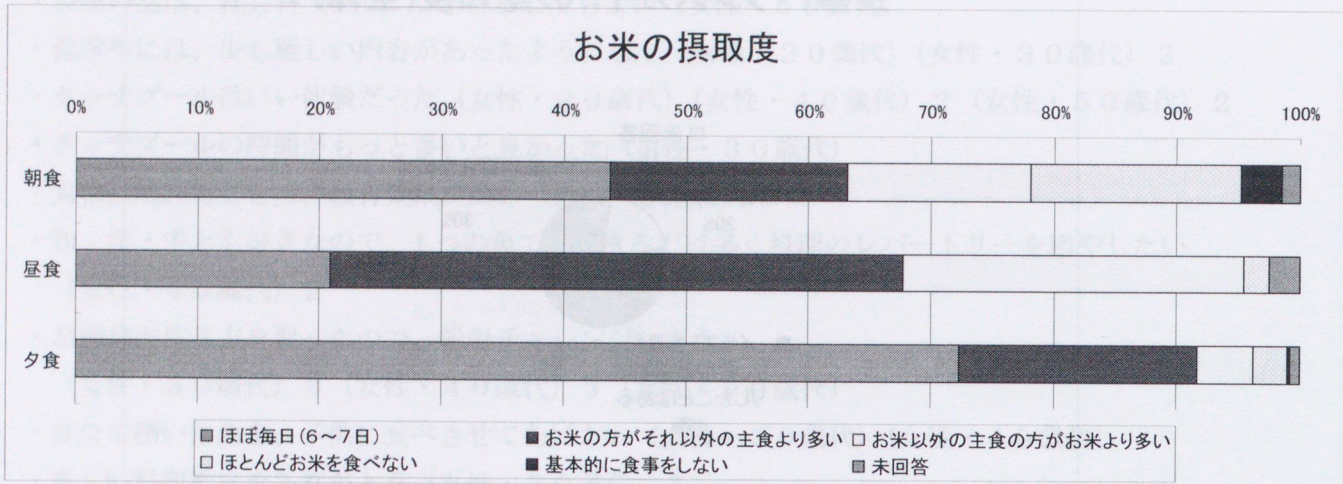
食事バランスガイドの認知度(男性)



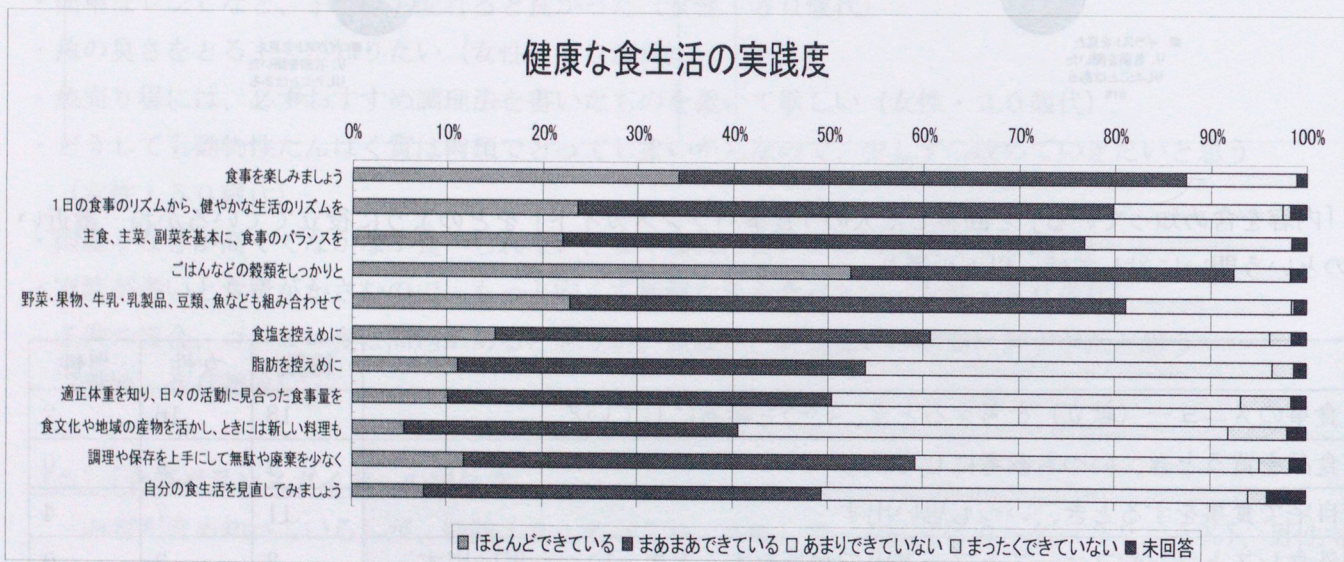
「内容を含め知っている」と回答した人の「食事バランスガイド」をどのように役立っているかね一番近いものという問いに対しては、以下の通り。

	総数	女性	男性
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	18	16	2
食品を買うとき、いつも参考にしている	4	4	0
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	11	7	4
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	2	2	0
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	24	19	5
食品を買うとき、ときどき参考にしている	9	7	2
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	16	13	3
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	0	0	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	15	11	4
内容まで知ってはいるが、役立っていない	22	17	5
未回答	0	0	0
合計	121	96	25

(6) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、以下の通り。



(7) 「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、「脂肪を控えめに」、「適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を」、「食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も」、「自分の食生活を見直してみましよう」の項目では、実践度が低かった。



平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「食育おさかな普及学術研究会」アンケート調査結果報告
 成人

(1) 対象者の特性

対象者は、「食育おさかな普及学術研究会」の参加者。

総数：101名

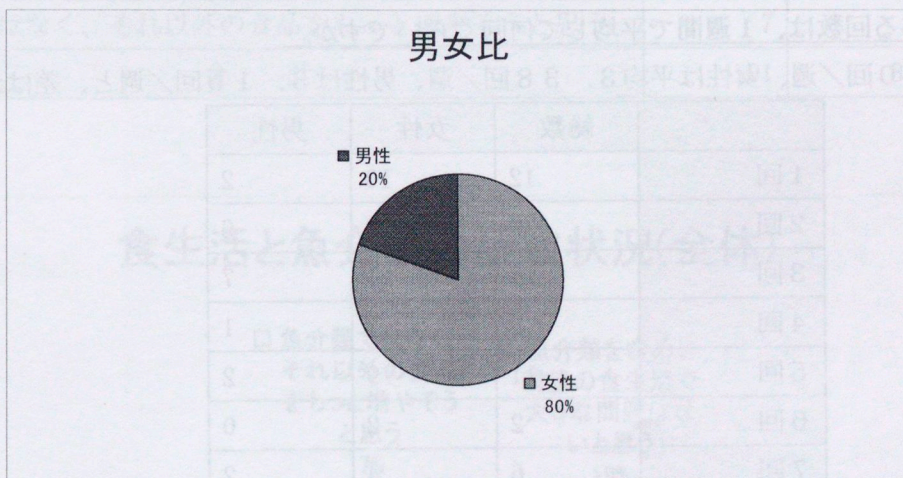
女性：81名

男性：20名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

10歳代、20歳代が99%を占める。

	総数	女性	男性
10歳代	5	5	0
20歳代	94	74	20
30歳代	0	0	0
40歳代	0	0	0
50歳代	2	2	0
60歳代	0	0	0
70歳代以上	0	0	0
合計	101	81	20



所帯構成は、以下のとおり。

	総数	女性	男性
一人暮らし	22	9	13
夫婦のみ	0	0	0
親と子の二世帯	59	59	0
親と子と孫の三世帯	11	4	7
その他	9	9	0
合計	101	81	20

職業は、以下のとおりで、「学生」が、99%を占める。

	総数	女性	男性
自営業（商店経営・自由業）	0	0	0
農林漁業	0	0	0
会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）	0	0	0
会社員・公務員・団体職員（その他）	0	0	0
専業主婦	2	2	0
学生	99	79	20
その他	0	0	0
合 計	101	81	20

現住所は、以下のとおり。

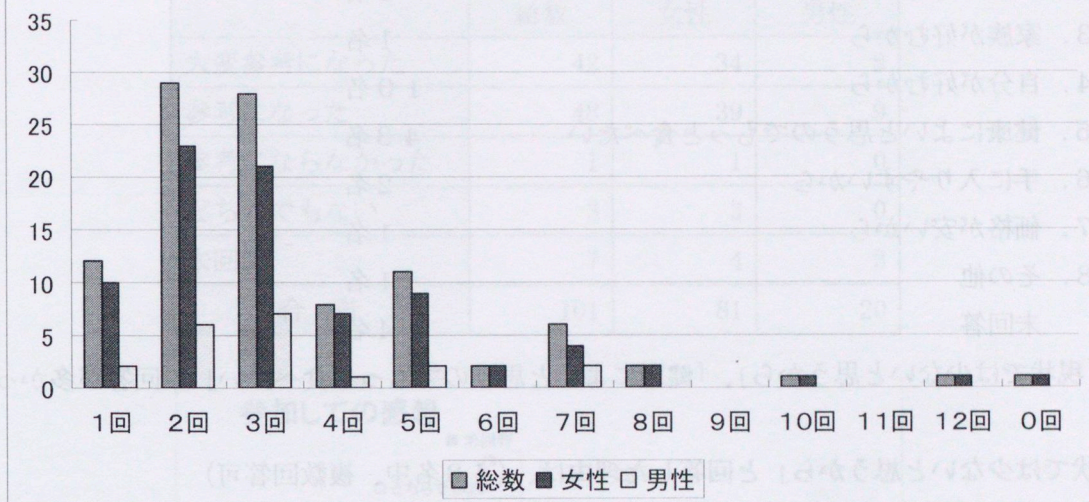
	総数	女性	男性
東京都	40	39	1
神奈川県	39	25	14
千葉県	6	6	0
埼玉県	13	8	5
不明	3	3	
合 計	101	81	20

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均3.30回/週、女性は平均3.38回/週、男性は3.15回/週と、差は余り無かった。

	総数	女性	男性
1回	12	10	2
2回	29	23	6
3回	28	21	7
4回	8	7	1
5回	11	9	2
6回	2	2	0
7回	6	4	2
8回	2	2	0
9回	0	0	0
10回	1	1	0
11回	0	0	0
12回	1	1	0
0回	1	1	0
合 計	101	81	20

魚介類を食べる回数

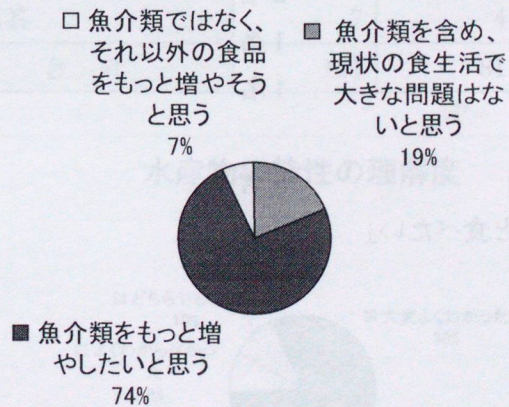


(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況を見て、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が75名で、全体の約74%を占めた。

	総数	女性	男性
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	19	16	3
魚介類をもっと増やしたいと思う	75	60	15
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	7	5	2
合 計	101	81	20

食生活と魚介類の摂取状況(全体)



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(75名中、複数回答可)

1. 現状では少ないと思うから	48名
2. 子供が好むから	2名
3. 家族が好むから	1名
4. 自分が好むから	10名
5. 健康によいと思うのでもっと食べたい	43名
6. 手に入りやすいから	2名
7. 価格が安いから	1名
8. その他	1名
未回答	4名

と、「現状では少ないと思うから」、「健康によいと思うのでもっと食べたい」の回答が多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(48名中、複数回答可)

1. 子供が好まない	11名
2. 家族が好まない	2名
3. 実は私があまり好きでない	3名
4. 価格が高い	5名
5. 料理(調理)方法がわからない	2名
6. 料理(調理)方法が面倒である	26名
7. 食べるのに手間がかかる	16名
8. 片づけが面倒である	16名
9. 安全・安心が確認できない	1名
10. その他	6名
未回答	3名

だった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した7名は、(複数回答可)

「野菜類を増やしたい」	5名
「ご飯や主食を増やしたい」	1名
「未回答」	1名

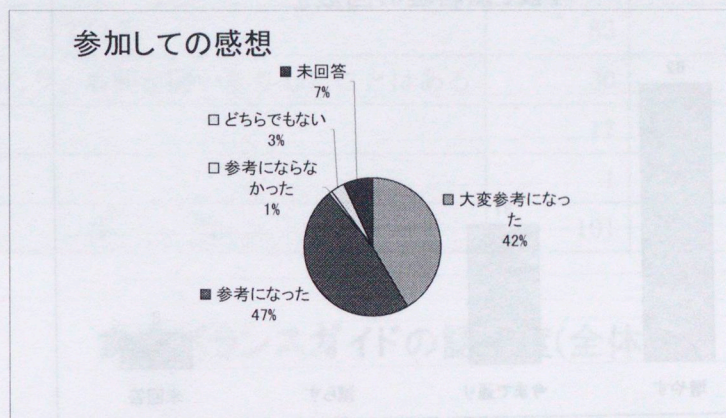
と回答し、その理由は

「栄養のバランスを取るため」	5名
「健康によいと思うのでもっと食べたい」	4名
「未回答」	1名

だった。

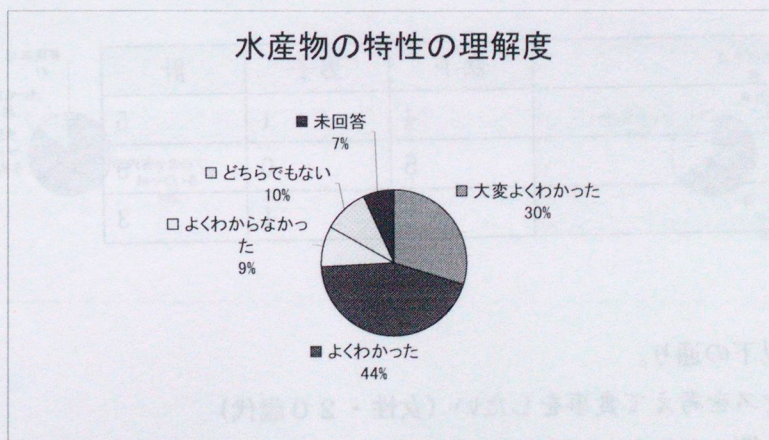
(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、
 「大変参考になった」、「参考になった」と、90名(89.1%)が回答した。

	総数	女性	男性
大変参考になった	42	34	8
参考になった	48	39	9
参考にならなかった	1	1	0
どちらでもない	3	3	0
未回答	7	4	3
合計	101	81	20



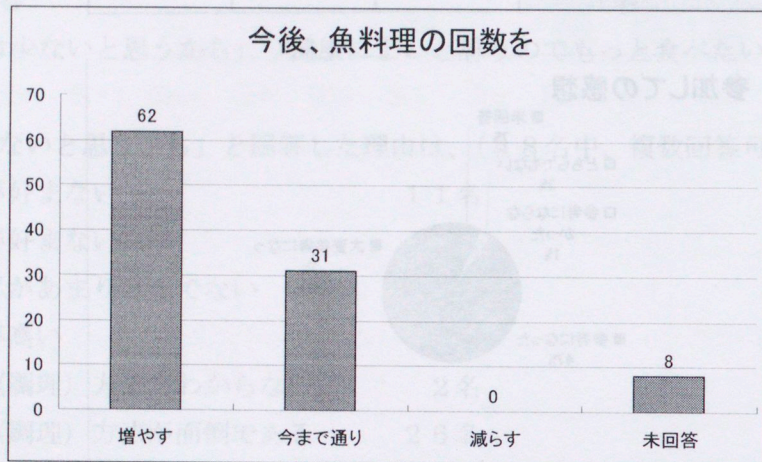
「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には
 「大変よくわかった」、「よくわかった」と、75名(74.3%)が回答した。

	総数	女性	男性
大変よくわかった	30	22	8
よくわかった	45	38	7
よくわからなかった	9	8	1
どちらでもない	10	9	1
未回答	7	4	3
合計	101	81	20



「今後家庭で魚料理を」では、
「増やす」と、62名（61.4%）が回答した。

	総数	女性	男性
増やす	62	48	14
今まで通り	31	28	3
減らす	0	0	0
未回答	8	5	3
合計	101	81	20



「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

	女性	男性	計
煮魚	12	3	15
焼き魚	4	2	6
洋風にアレンジした料理	5	0	5
刺身	3	0	3
つみれ	0	2	2

魚種では、

	女子	男子	計
カツオ	4	1	5
サバ	5	0	5
タイ	2	1	3

「意見」、「感想」は、以下の通り。

- ・日々栄養のバランスを考えて食事をしたい（女性・20歳代）
- ・自宅でもカレーを捌いてみたい（女性・20歳代）

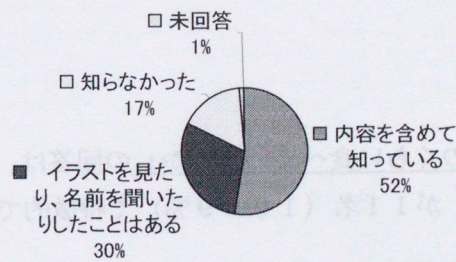
- ・カツオの捌き方が勉強になった（女性・20歳代）2
- ・魚大好きです（男性・20歳代）
- ・大変よく理解できました（女性・20歳代）
- ・魚料理の飲食店がもっと増えると良い（女性・20歳代）
- ・マグロの解体を見てみたい（女性・20歳代）

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

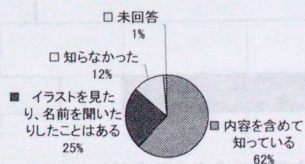
「内容を含め知っている」が、総数53名（52.5%）で、女性では50名（61.7%）、男性では3名（15.0%）だった。

	総数	女性	男性
内容を含めて知っている	53	50	3
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	30	20	10
知らなかった	17	10	7
未回答	1	1	0
合計	101	81	20

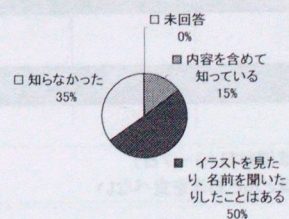
食事バランスガイドの認知度(全体)



食事バランスガイドの認知度(女性)



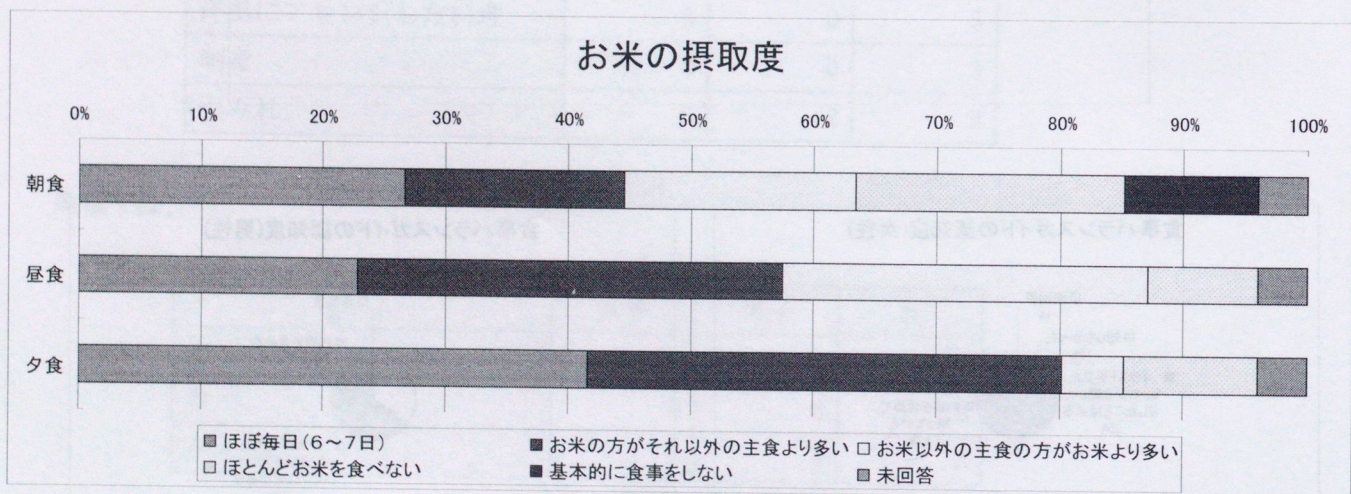
食事バランスガイドの認知度(男性)



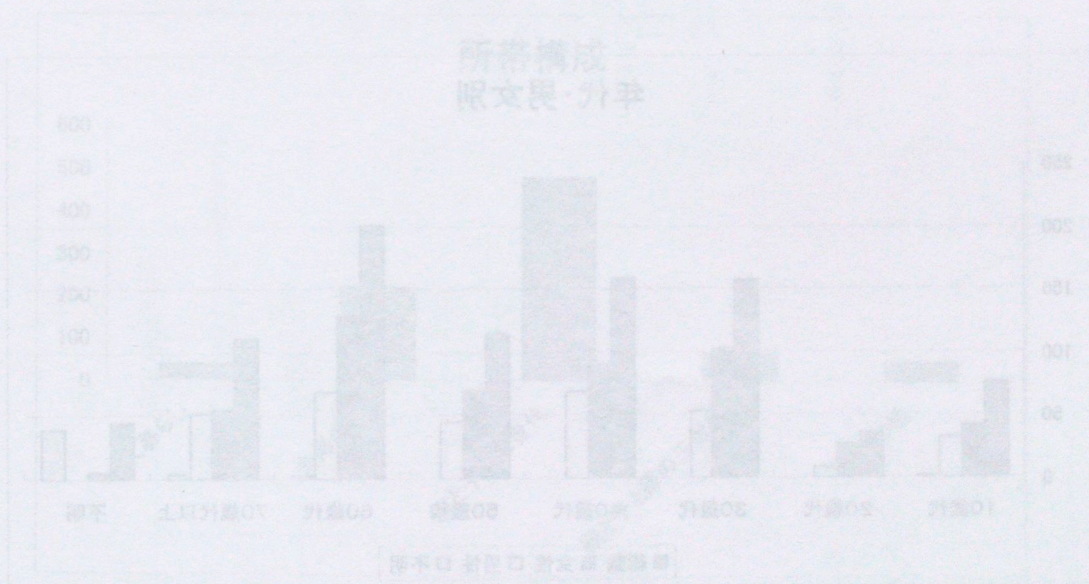
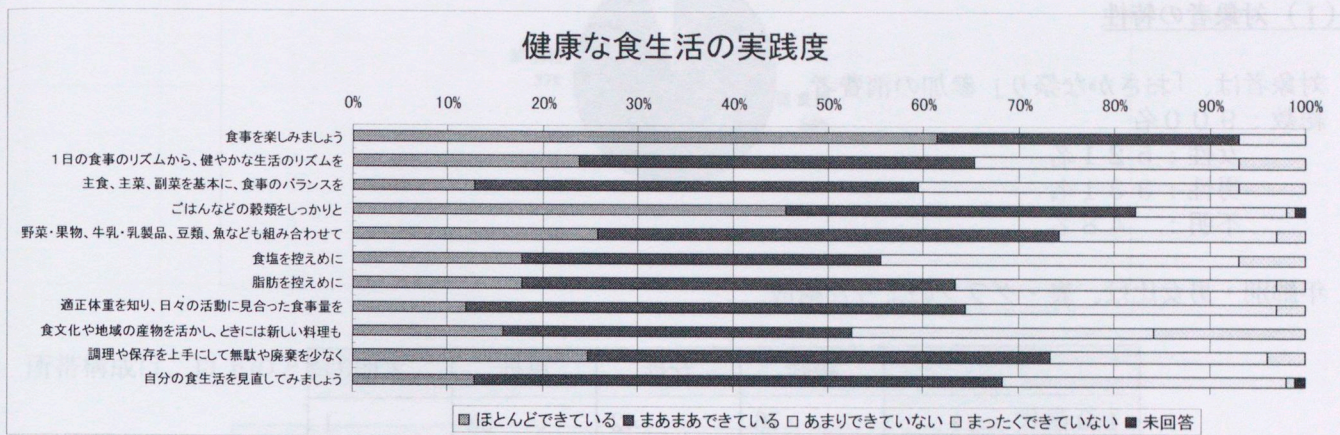
「内容を含め知っている」と回答した人の「食事バランスガイド」をどのように役立てているか、一番近いものという問いに対しては、以下の通りで、総数30名（60.0%）が、「内容まで知ってはいるが、役立っていない」と回答している。

	総数	女性	男性
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	1	1	0
食品を買うとき、いつも参考にしている	1	1	0
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	4	3	1
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	0	0	0
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	9	8	1
食品を買うとき、ときどき参考にしている	1	1	0
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	3	3	0
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	3	3	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	1	1	0
内容まで知ってはいるが、役立っていない	30	29	1
未回答	0	0	0
合 計	53	50	3

(6) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、朝食では、「基本的に食事をしない」が11名（10.9%）で特徴的である。



(7)「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、「ほとんどできている」、「まあまあできている」が半数以上を占めた。



平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「おさかな祭り」アンケート調査結果報告
 成人(消費者)

(1) 対象者の特性

対象者は、「おさかな祭り」参加の消費者。

総数：900名

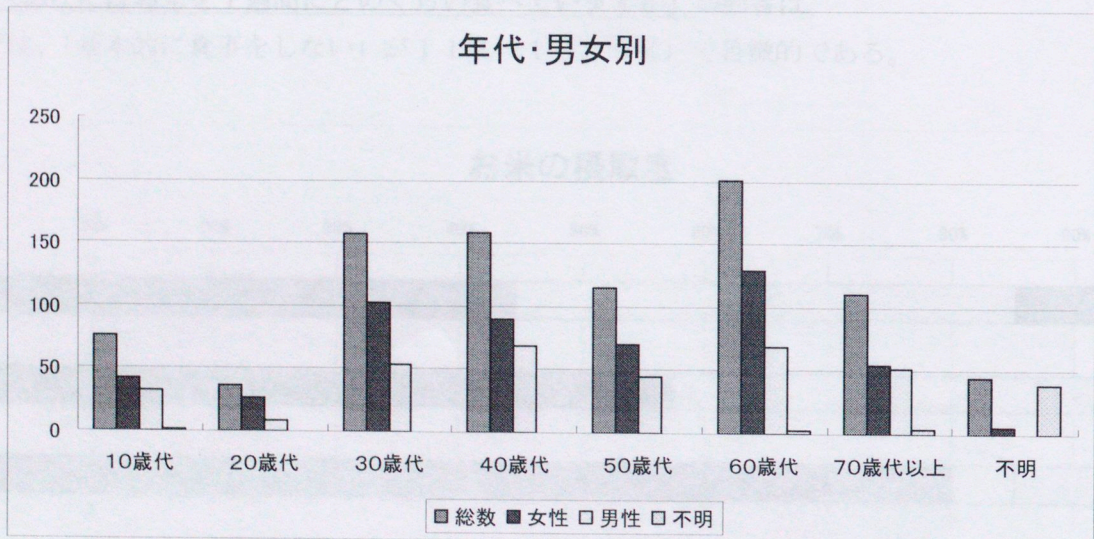
女性：521名

男性：331名

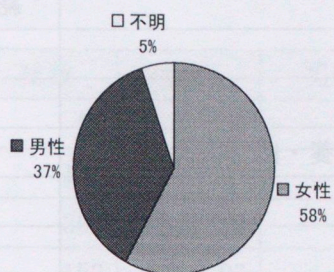
不明：48名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

	総数	女性	男性	不明
10歳代	76	42	33	1
20歳代	36	27	9	
30歳代	157	103	54	
40歳代	159	90	69	
50歳代	115	70	45	
60歳代	201	129	69	3
70歳代以上	111	55	52	4
不明	45	5	0	40
合計	900	521	331	48



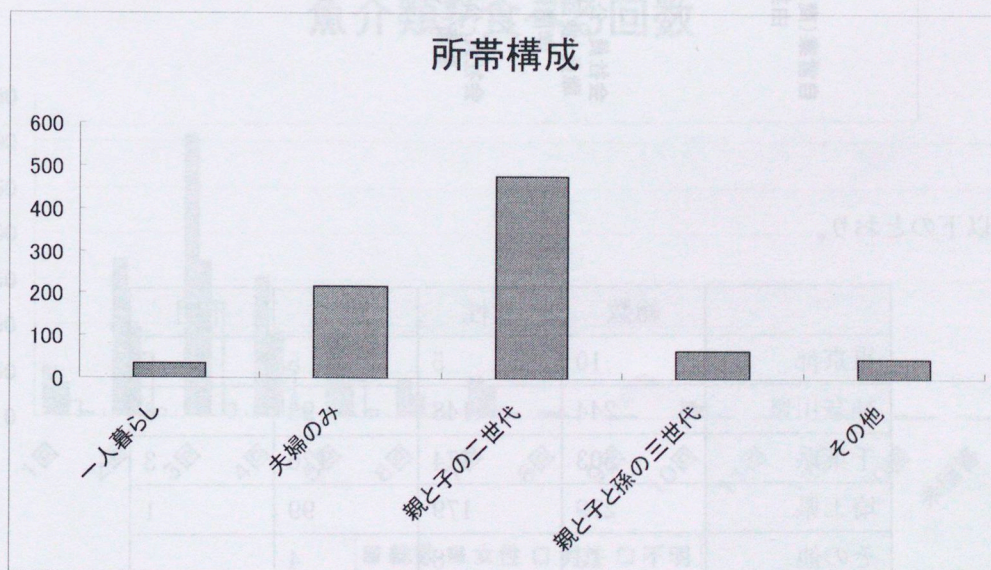
男女比



所帯構成は、以下のとおり。

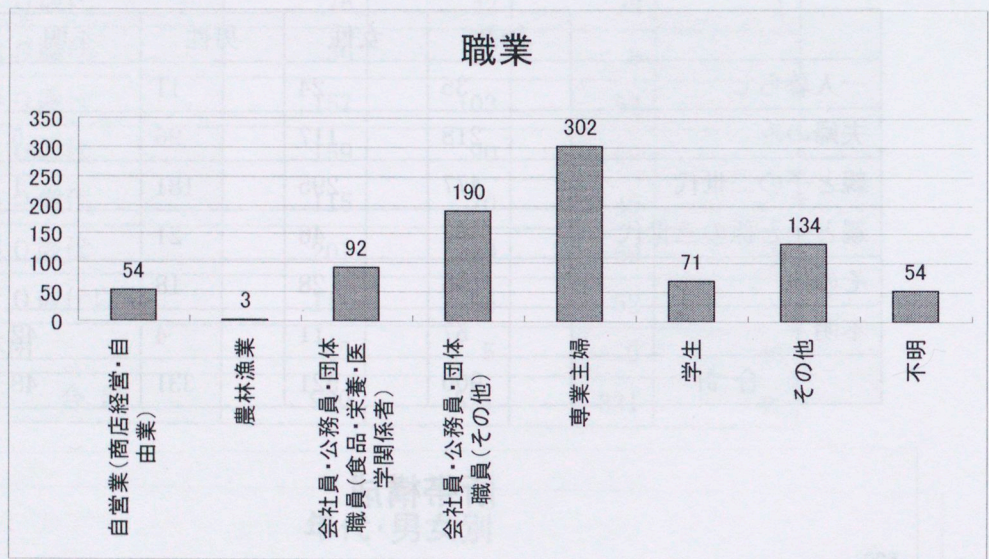
	総数	女性	男性	不明
一人暮らし	35	24	11	
夫婦のみ	218	117	96	5
親と子の二世帯	477	295	181	1
親と子と孫の三世帯	67	46	21	
その他	46	28	18	
不明	57	11	4	42
合計	900	521	331	48

所帯構成



職業は、以下のとおりで、「専業主婦」が、1/3を占める。

	総数	女性	男性	不明
自営業（商店経営・自由業）	54	16	37	1
農林漁業	3	1	2	
会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）	92	34	56	2
会社員・公務員・団体職員（その他）	190	67	123	
専業主婦	302	302	0	
学生	71	43	28	
その他	134	50	81	3
不明	54	8	4	42
合計	900	521	331	48



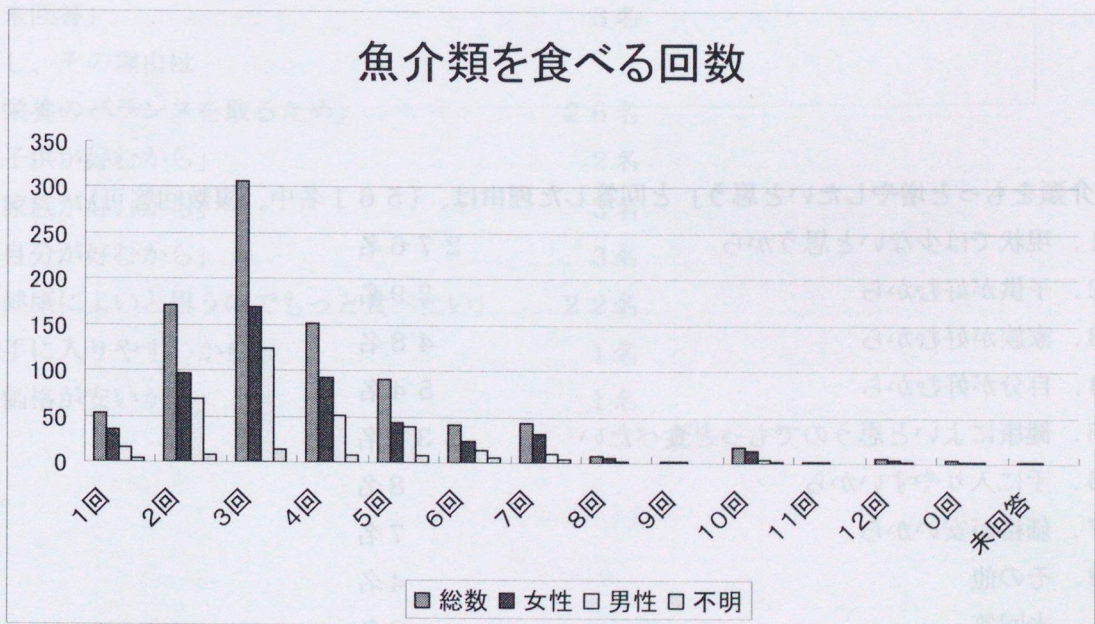
現住所は、以下のとおり。

	総数	女性	男性	不明
東京都	10	5	5	
神奈川県	244	148	93	3
千葉県	303	174	126	3
埼玉県	279	179	99	1
その他	12	8	4	
不明	52	7	4	41
合計	900	521	331	48

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均3.84回/週、女性は平均3.73回/週、男性は3.46回/週、性別不明は3.92回/週だった。

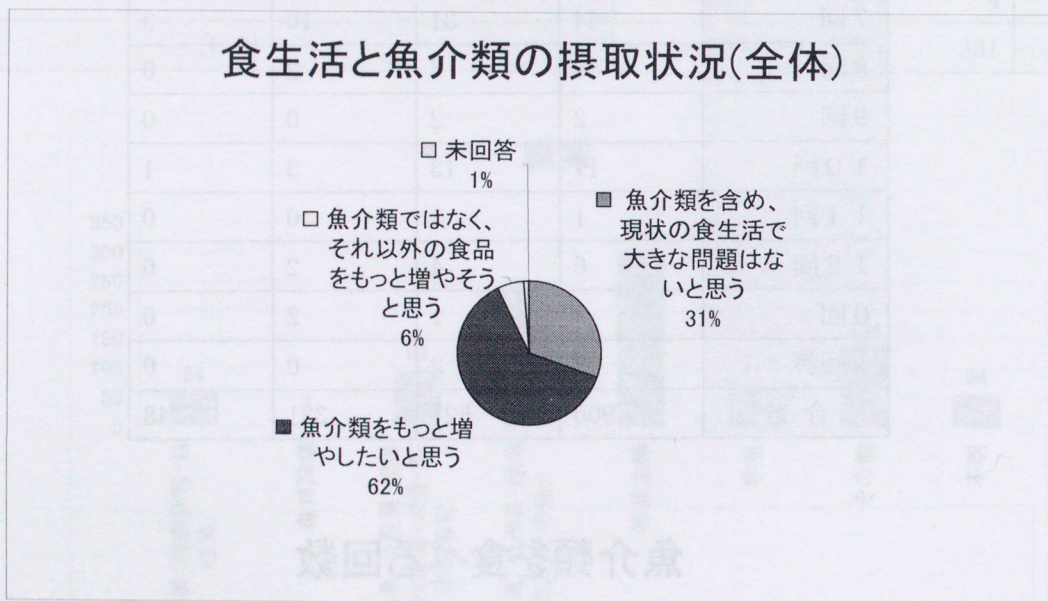
	総数	女性	男性	不明
1回	54	35	16	3
2回	172	97	68	7
3回	307	169	124	14
4回	152	93	52	7
5回	91	44	39	8
6回	41	23	13	5
7回	44	31	10	3
8回	8	6	2	0
9回	2	2	0	0
10回	17	13	3	1
11回	1	1	0	0
12回	6	4	2	0
0回	3	1	2	0
未回答	2	2	0	0
合計	900	521	331	48



(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況をみて、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が561名で、全体の約62%を占めた。

	総数	女性	男性	不明
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	275	147	113	15
魚介類をもっと増やしたいと思う	561	335	199	27
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	54	35	14	5
未回答	10	4	5	1
合計	900	521	331	48



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(561名中、複数回答可)

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 現状では少ないと思うから | 276名 |
| 2. 子供が好むから | 29名 |
| 3. 家族が好むから | 48名 |
| 4. 自分が好むから | 54名 |
| 5. 健康によいと思うのでもっと食べたい | 332名 |
| 6. 手に入りやすいから | 8名 |
| 7. 価格が安いから | 7名 |
| 8. その他 | 4名 |
| 未回答 | 6名 |

と、「現状では少ないと思うから」、「健康によいと思うのでもっと食べたい」の回答が多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(276名中、複数回答可)

1. 子供が好まない	88名
2. 家族が好まない	30名
3. 実は私があまり好きでない	25名
4. 価格が高い	80名
5. 料理(調理)方法がわからない	51名
6. 料理(調理)方法が面倒である	63名
7. 食べるのに手間がかかる	48名
8. 片づけが面倒である	26名
9. 安全・安心が確認できない	12名
10. その他	8名
未回答	17名

と、「子供が好まない」、「価格が高い」、「料理(調理)方法が面倒である」、「料理(調理)方法がわからない」、「食べるのに手間がかかる」の順に多かった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した54名は、(複数回答可)

「肉類をもっと増やしたい」	6名
「野菜類を増やしたい」	40名
「ご飯や主食を増やしたい」	4名
「その他」	3名
「未回答」	3名

と回答し、その理由は

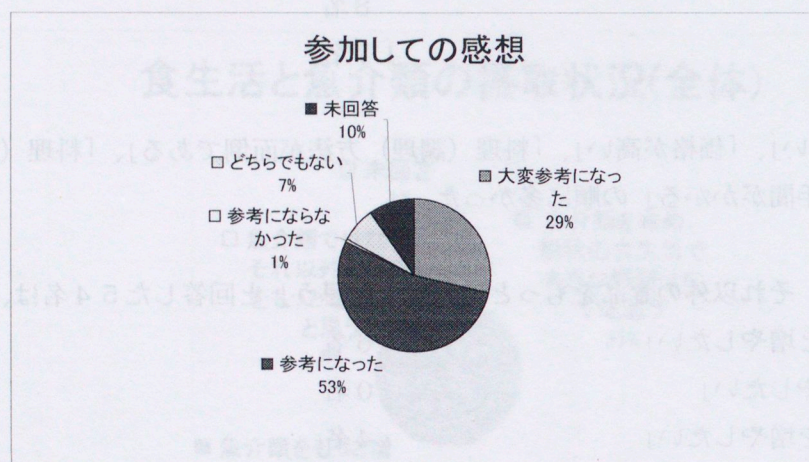
「栄養のバランスを取るため」	26名
「子供が好むから」	2名
「家族が好むから」	3名
「自分が好むから」	3名
「健康によいと思うのでもっと食べたい」	22名
「手に入りやすいから」	1名
「価格が安いから」	1名

だった。

(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、

「大変参考になった」、「参考になった」と、741名(82.3%)が回答した。

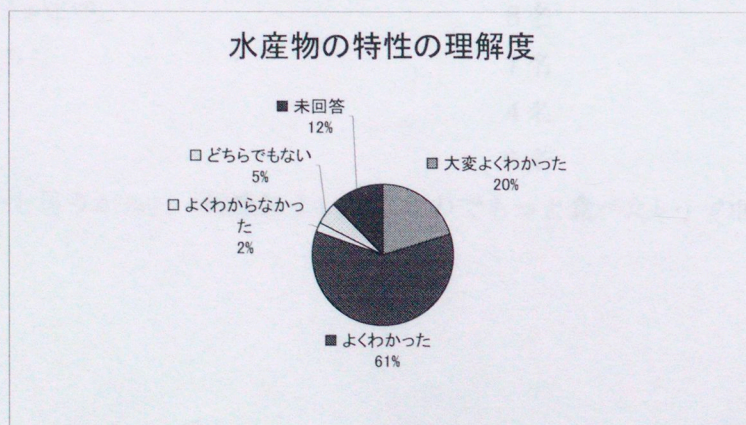
	総数	女性	男性	不明
大変参考になった	258	149	101	8
参考になった	483	287	181	15
参考にならなかった	5	0	5	0
どちらでもない	67	33	30	4
未回答	87	52	14	21
合計	900	521	331	48



「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には

「大変よくわかった」、「よくわかった」と、723名(80.3%)が回答した。

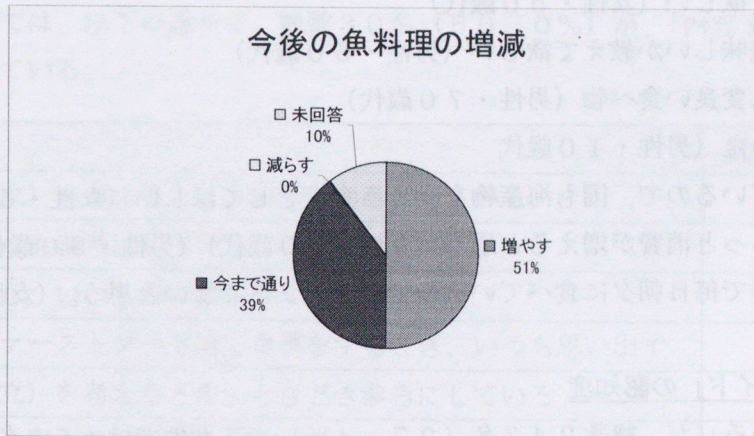
	総数	女性	男性	不明
大変よくわかった	182	104	65	13
よくわかった	541	319	211	11
よくわからなかった	20	11	9	0
どちらでもない	48	22	24	2
未回答	109	65	22	22
合計	900	521	331	48



「今後家庭で魚料理を」では、

「増やす」と、451名（50.1%）が回答した。

	総数	女性	男性	不明
増やす	451	294	147	10
今まで通り	354	179	158	17
減らす	2	1	1	0
未回答	93	47	25	21
合計	900	521	331	48



「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

	女性	男性	不明	計
煮魚	66	3	1	70
焼き魚	21	30		51
刺身	30	26		56
ムニエル	9	5		14
鍋物	7	6		13
洋風料理	8	2		10
蒸し物	8	0		8
干物	3	3		6
揚げ物	3	2		5
中華風料理	2	3		5
子供が喜ぶ料理	3	1		4
骨まで食べられる料理	2	2		4

「意見」、「感想」は、以下の通り。

- ・参考になった（男性・10歳代）2（女性・40歳代）
- ・子供が喜んでた（女性・30歳代）2
- ・楽しかった（女性・30歳代）3（女性・60歳代）（男性・30歳代）（男性・60歳代）

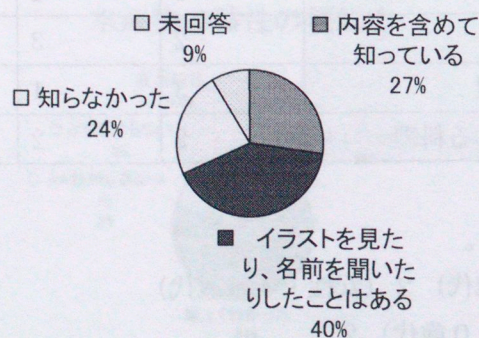
- ・このようなイベントを増やして欲しい (男性・30歳代) 2 (女性・60歳代) 2
- ・アジの三枚卸しの体験が出来て良かった (女性・50歳代)
- ・子供が食べやすい料理法方が知りたい (女性・40歳代)
- ・新しい料理法を知りたい (女性・40歳代) (女性・50歳代) (男性・30歳代) (男性・60歳代)
- ・マグロを安く食べたい (男性・40歳代)
- ・家族全員魚が大好きで、食卓には必ず魚料理があります (女性・50歳代)
- ・私自身は魚が大好きなので、問題なし (女性・10歳代) (女性・70歳代)
- ・主人は魚しか食べない (不明)
- ・これから益々魚を食べていこうと思っています (女性・60歳代)
- ・珍しい魚も紹介して欲しい (女性・50歳代)
- ・魚の何処の部分が美味しいか教えて欲しい (男性・60歳代)
- ・魚は老人にとって大変良い食べ物 (男性・70歳代)
- ・サメに触れて良かった (男性・10歳代)
- ・日本は海に囲まれているので、国も海産物を勧める食育をしてほしい (女性・60歳代)
- ・値段が安ければ、もっと消費が増えると思う (女性・60歳代) (男性・60歳代)
- ・我が家は魚好きなので毎日朝夕に食べているので、このままでよいと思う。(女性・60歳代)

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

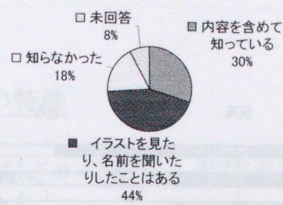
「内容を含め知っている」が、総数247名 (27.4%) で、女性では157名 (30.1%)、男性では81名 (24.5%) だった。

	総数	女性	男性	不明
内容を含めて知っている	247	157	81	9
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	362	228	125	9
知らなかった	213	96	112	5
未回答	78	40	13	25
合計	900	521	331	48

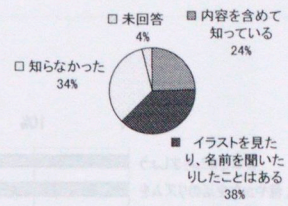
食事バランスガイドの認知度(全体)



食事バランスガイドの認知度(女性)



食事バランスガイドの認知度(男性)

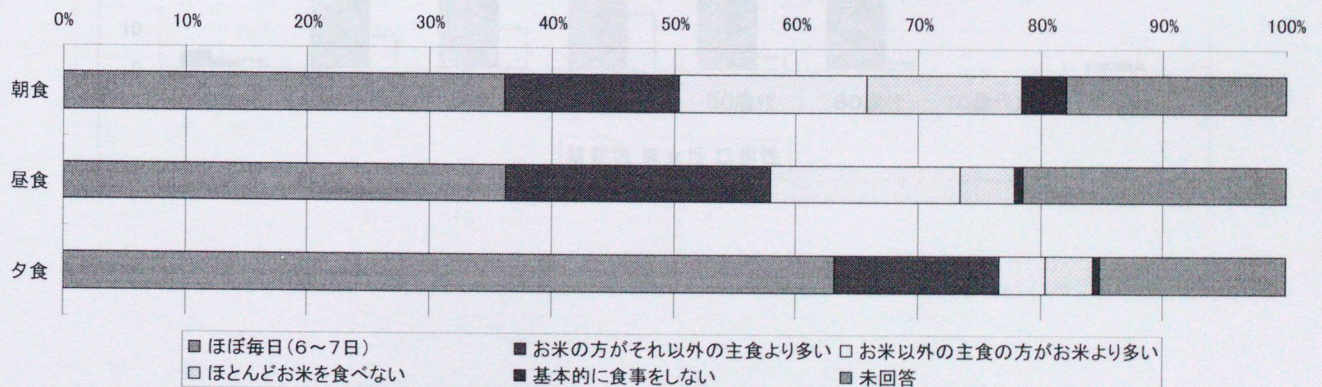


「内容を含め知っている」と回答した人の「食事バランスガイド」をどのように役立てているか、一番近いものという問いに対しては、以下の通りで、総数30名（60.0%）が、「内容まで知っているが、役立っていない」と回答している。

	総数	女性	男性	不明
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	69	46	21	2
食品を買うとき、いつも参考にしている	29	16	13	
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	33	22	8	3
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	7	6	1	
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	29	24	5	
食品を買うとき、ときどき参考にしている	18	9	9	
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	14	3	9	2
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	4	1	3	
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	13	8	4	1
内容まで知っているが、役立っていない	30	21	8	1
未回答	1	1	0	
合計	247	157	81	9

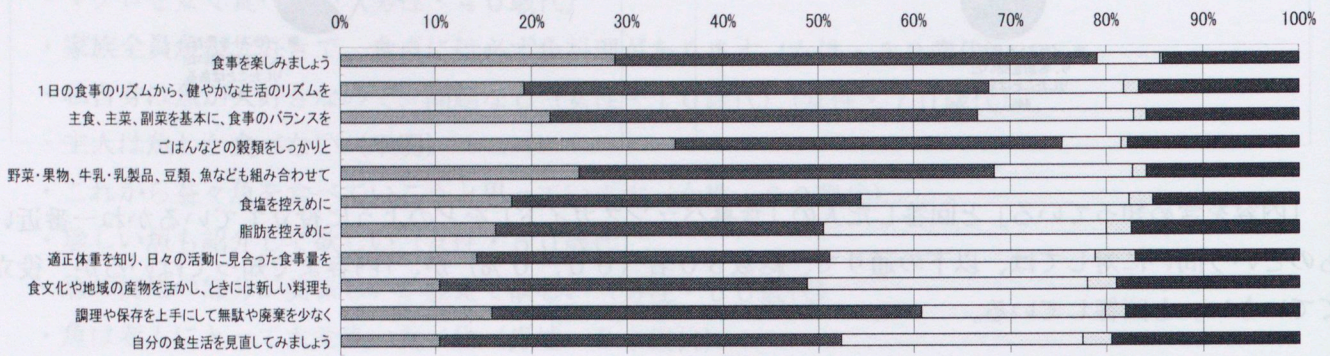
(6) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、三食共に「ほぼ毎日」、「お米の方がそれ以外の主食より多い」が50%を超えている。

お米の摂取度



(7)「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、「ほとんどできている」、「まあまあできている」がほぼ半数以上を占めている。

健康な食生活の実践度



■ ほとんどできている ■ まあまあできている □ あまりできていない □ まったくできていない ■ 未回答

平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「おさかな祭り」アンケート調査結果報告
 成人(店員)

(1) 対象者の特性

対象者は、「おさかな祭り」参加の店員及びその家族。

総数：234名

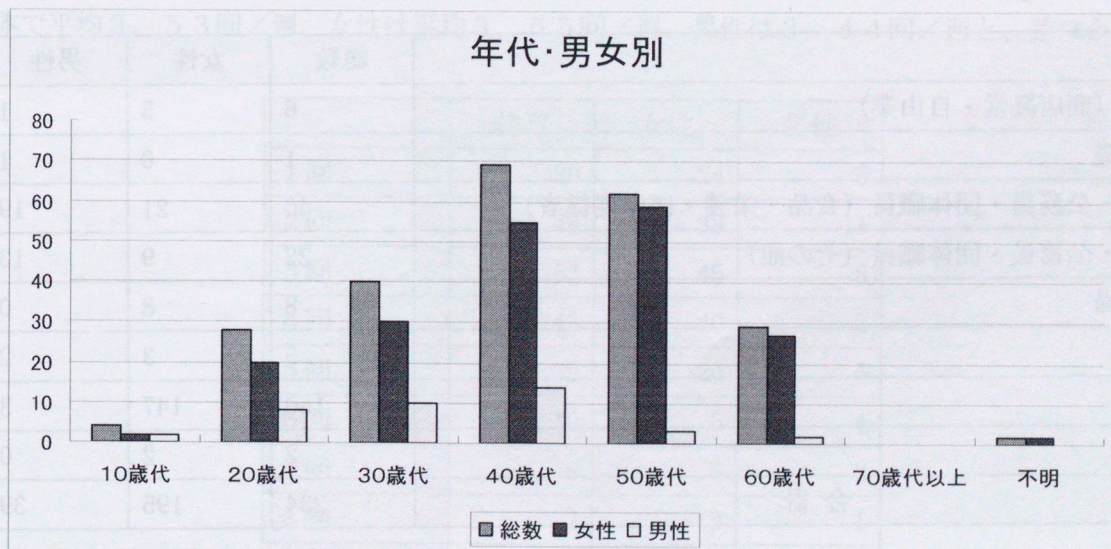
女性：195名

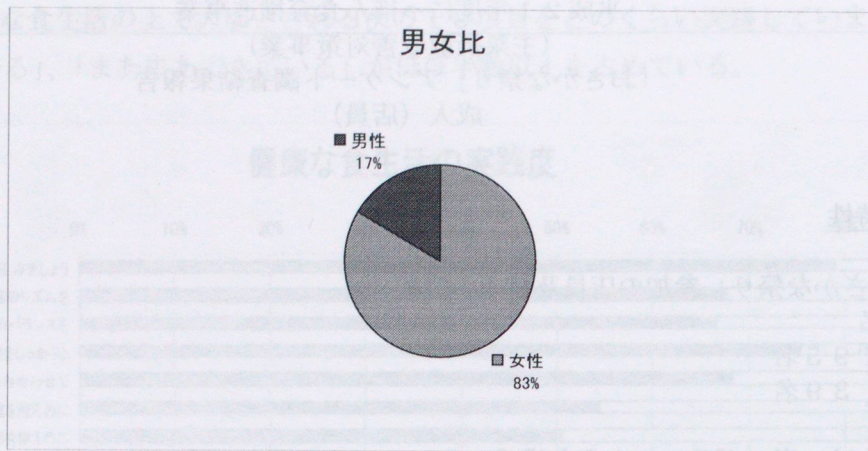
男性：39名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

	総数	女性	男性
10歳代	4	2	2
20歳代	28	20	8
30歳代	40	30	10
40歳代	69	55	14
50歳代	62	59	3
60歳代	29	27	2
70歳代以上	0	0	0
不明	2	2	0
合計	234	195	39

年代・男女別





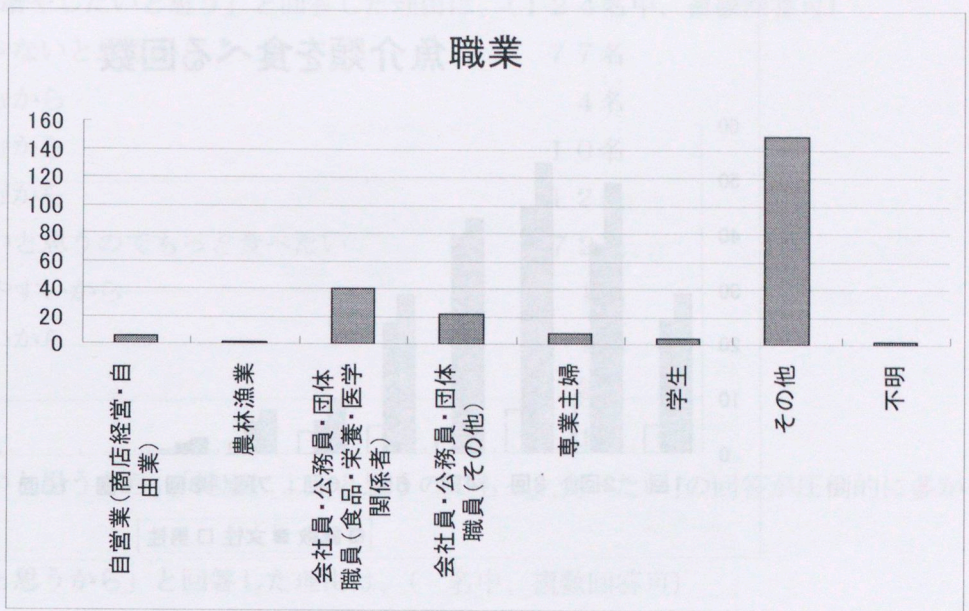
所帯構成は、以下のとおり。

	総数	女性	男性
一人暮らし	10	9	1
夫婦のみ	62	54	8
親と子の二世帯	119	98	21
親と子と孫の三世帯	17	11	6
その他	25	22	3
不明	1	1	0
合 計	234	195	39

職業は、以下のとおり。(家族分も含む)

その他はパート。

	総数	女性	男性
自営業 (商店経営・自由業)	6	5	1
農林漁業	1	0	1
会社員・公務員・団体職員 (食品・栄養・医学関係者)	40	21	19
会社員・公務員・団体職員 (その他)	22	9	13
専業主婦	8	8	0
学生	5	3	2
その他	150	147	3
不明	2	2	0
合 計	234	195	39



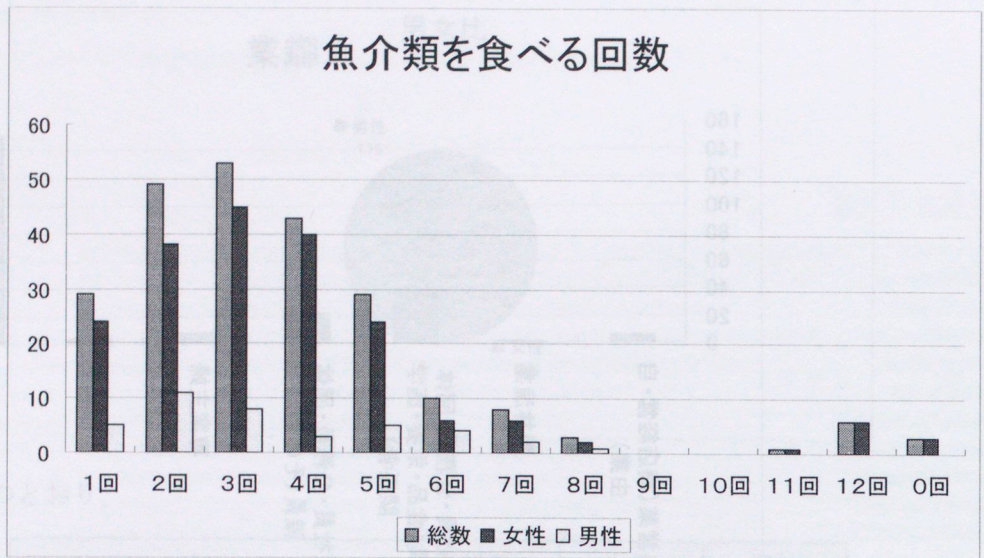
現住所は、以下のとおり。

	総数	女性	男性
東京都	2	2	0
神奈川県	53	47	6
千葉県	15	13	2
埼玉県	164	133	31
合計	234	195	39

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均3.53回/週、女性は平均3.55回/週、男性は3.44回/週と、差は余り無かった。

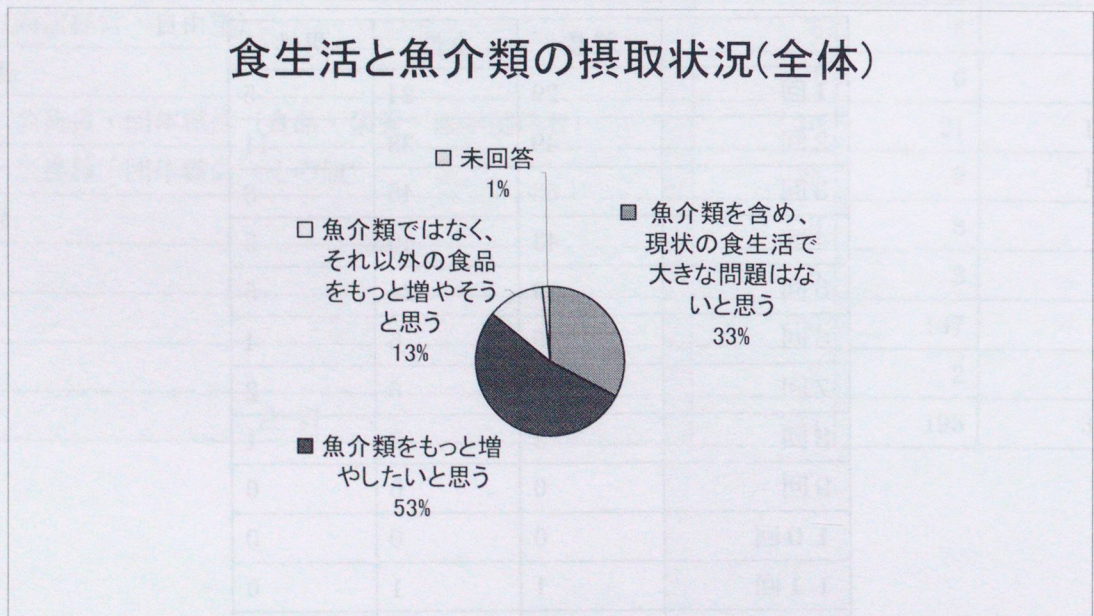
	総数	女性	男性
1回	29	24	5
2回	49	38	11
3回	53	45	8
4回	43	40	3
5回	29	24	5
6回	10	6	4
7回	8	6	2
8回	3	2	1
9回	0	0	0
10回	0	0	0
11回	1	1	0
12回	6	6	0
0回	3	3	0
合計	234	195	39



(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況を見て、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が124名で、全体の約53%を占め、「魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う」と77名(32.9%)が回答した。

	総数	女性	男性
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	77	66	11
魚介類をもっと増やしたいと思う	124	102	22
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	30	24	6
未回答	3	3	0
合 計	234	195	39



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(124名中、複数回答可)

1. 現状では少ないと思うから	77名
2. 子供が好むから	4名
3. 家族が好むから	10名
4. 自分が好むから	12名
5. 健康によいと思うのもっと食べたい	72名
6. 手に入りやすいから	1名
7. 価格が安いから	1名
8. その他	3名
未回答	1名

と、「現状では少ないと思うから」、「健康によいと思うのもっと食べたい」の回答が圧倒的に多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(名中、複数回答可)

1. 子供が好まない	34名
2. 家族が好まない	10名
3. 実は私がいあまり好きでない	11名
4. 価格が高い	22名
5. 料理(調理)方法がわからない	12名
6. 料理(調理)方法が面倒である	17名
7. 食べるのに手間がかかる	10名
8. 片づけが面倒である	8名
9. 安全・安心が確認できない	2名
10. その他	3名
未回答	1名

だった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した30名は、(複数回答可)

「肉類をもっと増やしたい」	4名
「野菜類を増やしたい」	24名
「ご飯や主食を増やしたい」	2名
「その他」	1名
「未回答」	1名

と回答し、その理由は

「栄養のバランスを取るため」	21名
「子供が好むから」	4名
「家族が好むから」	1名
「健康によいと思うのもっと食べたい」	9名
「未回答」	2名

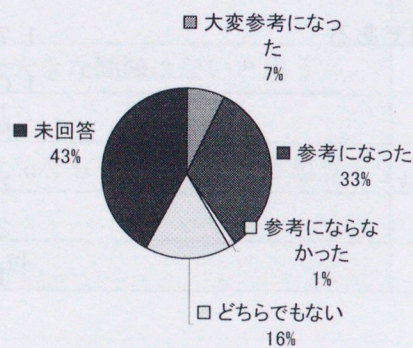
だった。

(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、

「大変参考になった」、「参考になった」と、94名(40.2%)が回答したが、「未回答」が99名(42.3%)と多かった。

	総数	女性	男性
大変参考になった	17	12	5
参考になった	77	63	14
参考にならなかった	3	1	2
どちらでもない	38	32	6
未回答	99	87	12
合計	234	195	39

参加しての感想

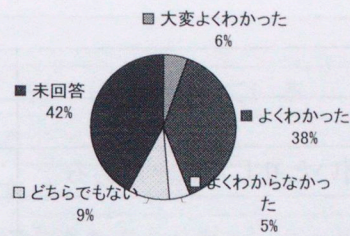


「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には

「大変よくわかった」、「よくわかった」と、103名(44.0%)が回答したが、「未回答」が99名(42.3%)と多かった。

	総数	女性	男性
大変よくわかった	13	11	2
よくわかった	90	71	19
よくわからなかった	11	6	5
どちらでもない	21	20	1
未回答	99	87	12
合計	234	195	39

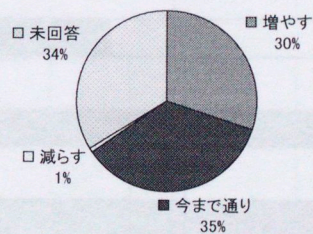
水産物の特性の理解度



「今後家庭で魚料理を」では、「増やす」と、70名（29.9%）が回答した。

	総数	女性	男性
増やす	70	51	19
今まで通り	83	72	11
減らす	2	1	1
未回答	79	71	8
合計	234	195	39

今後の魚料理の増減



「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

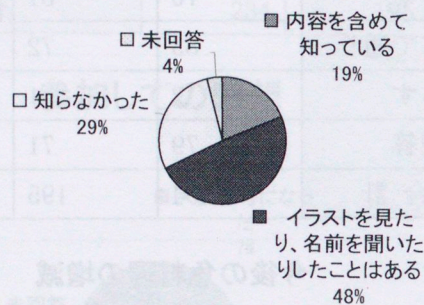
	女性	男性	計
煮魚	11	6	17
焼き魚	5	5	10
ムニエル	8	3	11
刺身	4	5	9
旬の魚	4	0	4
鍋料理	2	1	3
洋風料理	3	0	3
シンプルな料理	3	0	3
イタリア料理	1	1	2

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

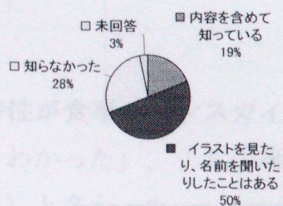
「内容を含めて知っている」が、総数44名（18.8%）で、女性では37名（20.0%）、男性では7名（17.9%）と低かった。

	総数	女性	男性
内容を含めて知っている	44	37	7
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	114	97	17
知らなかった	67	55	12
未回答	9	6	3
合計	234	195	39

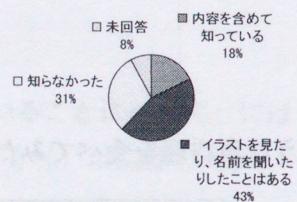
食事バランスガイドの認知度(全体)



食事バランスガイドの認知度(女性)



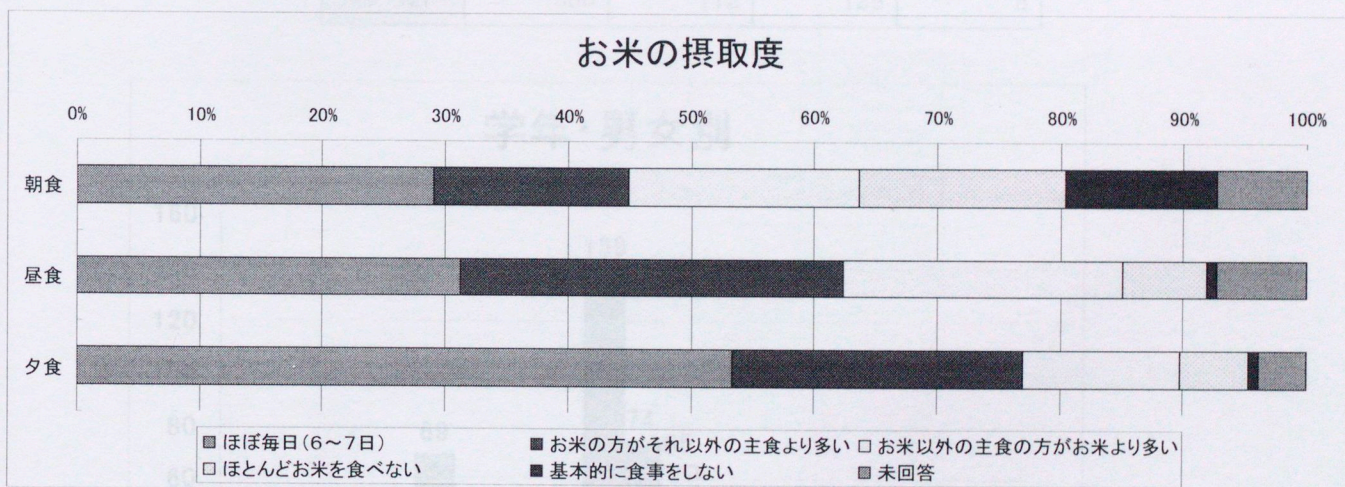
食事バランスガイドの認知度(男性)



「内容を含め知っている」と回答した人の「食事バランスガイド」をどのように役立てているか、一番近いものという問いに対しては、以下の通り。

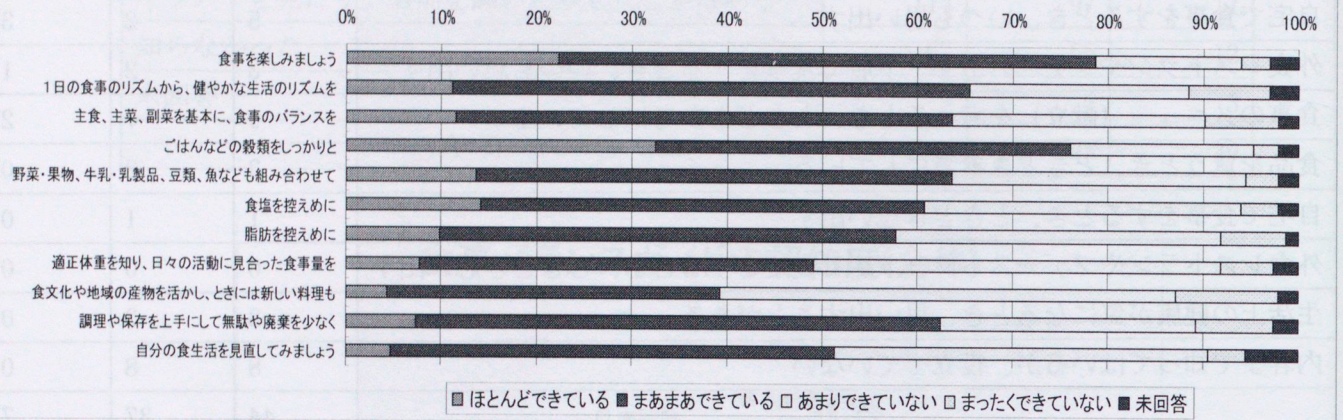
	総数	女性	男性
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	7	6	1
食品を買うとき、いつも参考にしている	5	5	0
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	5	2	3
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	3	2	1
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	9	7	2
食品を買うとき、ときどき参考にしている	3	3	0
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	1	1	0
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	0	0	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	3	3	0
内容まで知ってはいるが、役立てていない	8	8	0
合計	44	37	7

（6）「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、朝食では、「基本的に食事をしない」が29名（12.4%）で特徴的である。



(7)「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、「適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を」、「食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も」、「自分の食生活を見直してみよう」の項目では、実践度が低かった。

健康な食生活の実践度



平成21年度につばね食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「親子お魚料理教室」アンケート調査結果報告
 小学生

(1) 対象者の特性

対象者は、「親子お魚料理教室」の参加小学生。

総数：306名

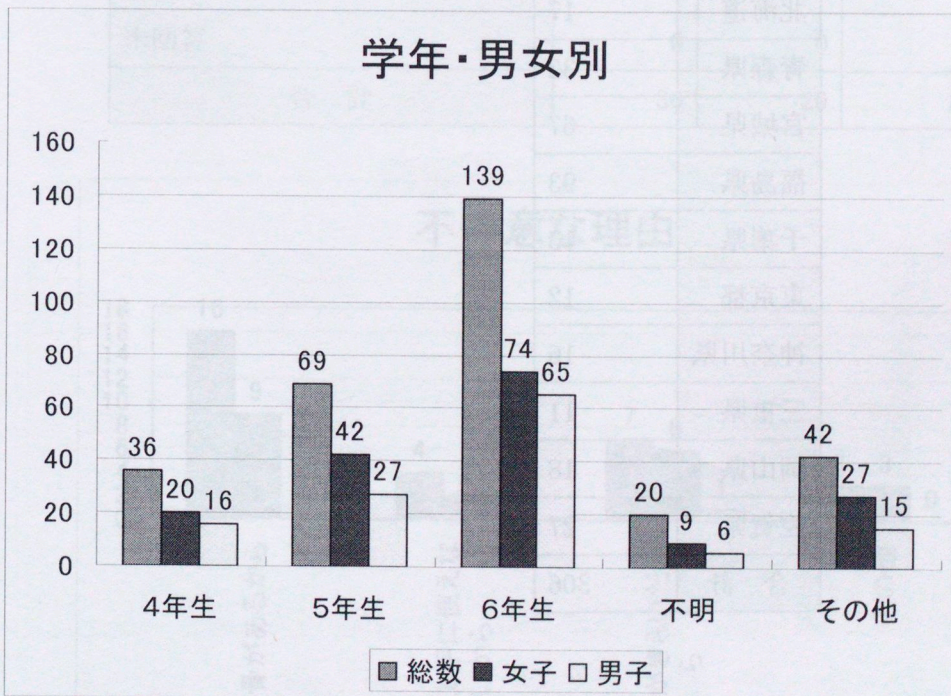
女子：172名 (56.2%)

男子：129名 (42.2%)

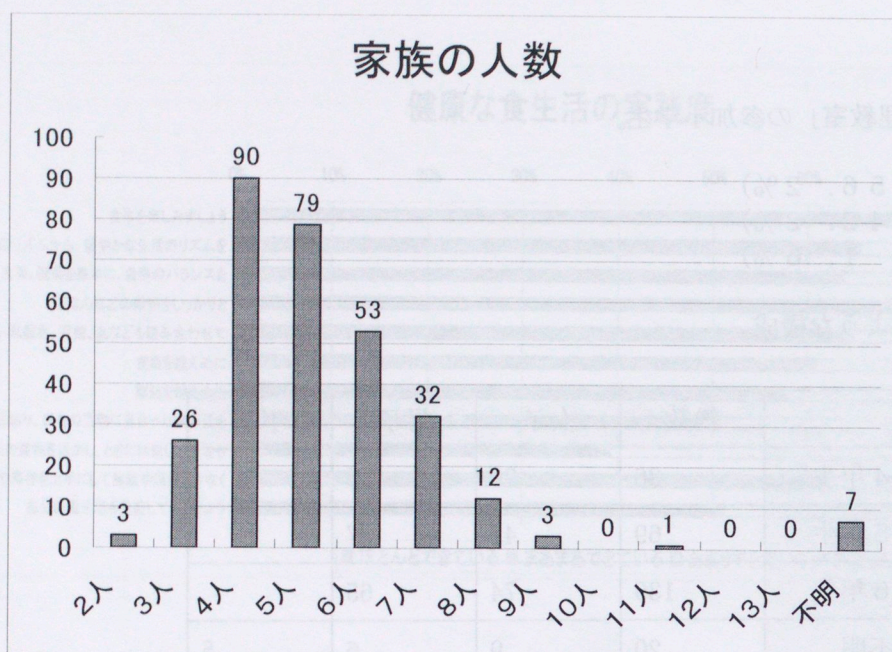
不明：5名 (1.6%)

学年別は表(グラフ)のような構成。

	総数	女子	男子	不明
4年生	36	20	16	
5年生	69	42	27	
6年生	139	74	65	
不明	20	9	6	5
その他	42	27	15	
合計	306	172	129	5



家族の人数は、グラフのようになり、4人家族が90名（29.4%）と多く、以下、5人家族79名（25.8%）と続く。



現住所は、以下の通り。

北海道	17
青森県	32
宮城県	67
福島県	93
千葉県	13
東京都	12
神奈川県	16
三重県	11
岡山県	18
佐賀県	27
合計	306

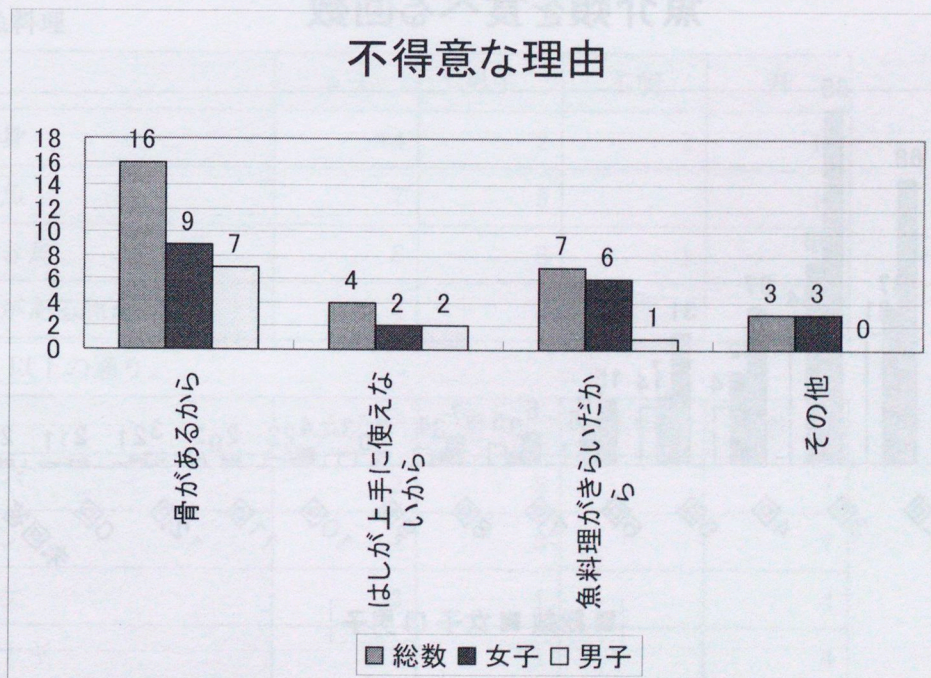
(2) 魚を食べることは、得意ですか。の回答は、

「得意」と123名(40.2%)が回答した。

	総数	女子	男子	不明
得意	123	63	59	1
不得意	27	18	9	
普通	149	88	58	3
どちらとも言えない	7	3	3	1
未回答	0	0	0	
合計	306	172	129	5

「不得意」と回答した27名の理由は、(複数回答)

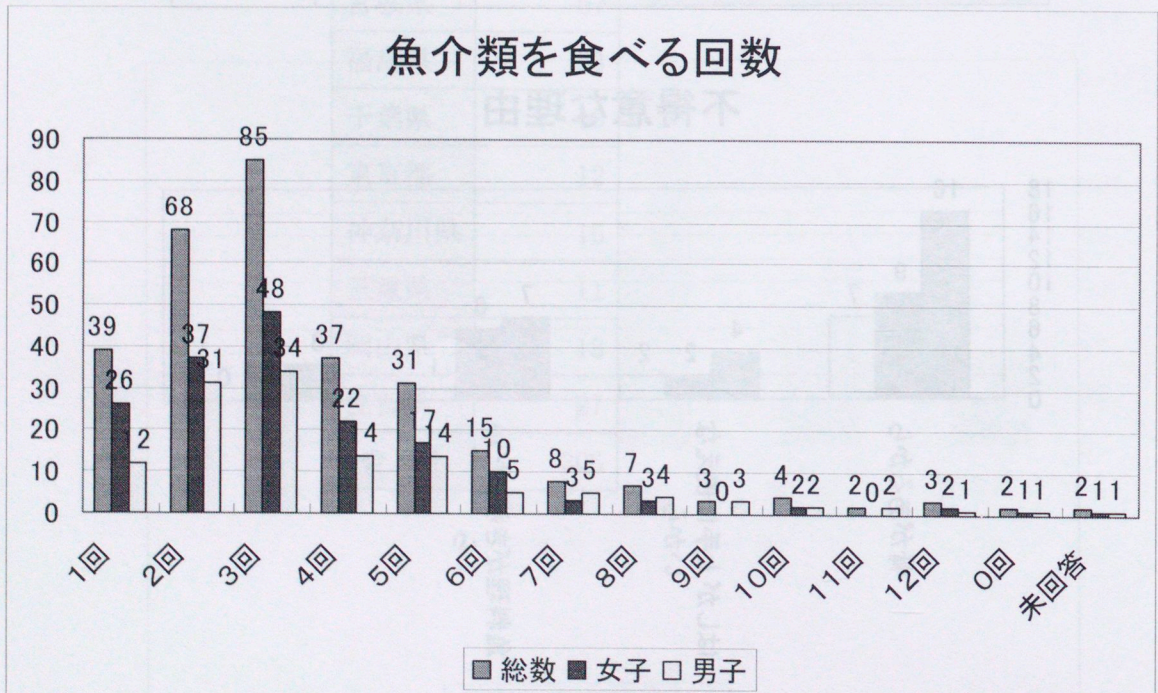
	総数	女子	男子
骨があるから	16	9	7
はしが上手に使えないから	4	2	2
魚料理がきらいだから	7	6	1
その他	3	3	0
未回答	0	0	0
合計	30	20	10



(3) 魚介類を食べる回数 (回/週) は、の回答は、

全体では3.48回/週、女子は3.31回/週、男子は3.72回/週だった。

	総数	女子	男子	不明
1回	39	26	12	1
2回	68	37	31	
3回	85	48	34	3
4回	37	22	14	1
5回	31	17	14	
6回	15	10	5	
7回	8	3	5	
8回	7	3	4	
9回	3	0	3	
10回	4	2	2	
11回	2	0	2	
12回	3	2	1	
0回	2	1	1	
未回答	2	1	1	
合計	306	172	129	5



(4) すきな魚料理、きれいな魚料理は、の回答は、

◎すきな魚料理

	女子	男子	不明	計
刺身	42	29		71
焼き魚	27	26	2	55
寿司	20	25		45
煮魚	9	1	1	11
フライ	4	3		7
揚げ物	5	1		6
ホイル焼き	4	2		6

魚種では、以下の通り。

	女子	男子	不明	計
サケ	18	10		28
サンマ	14	12		26
サバ	15	5	1	21
マグロ	8	2	1	11
全部	4	4		8
ホッケ	1	5		6
アジ	4	2		6

◎きれいな魚料理

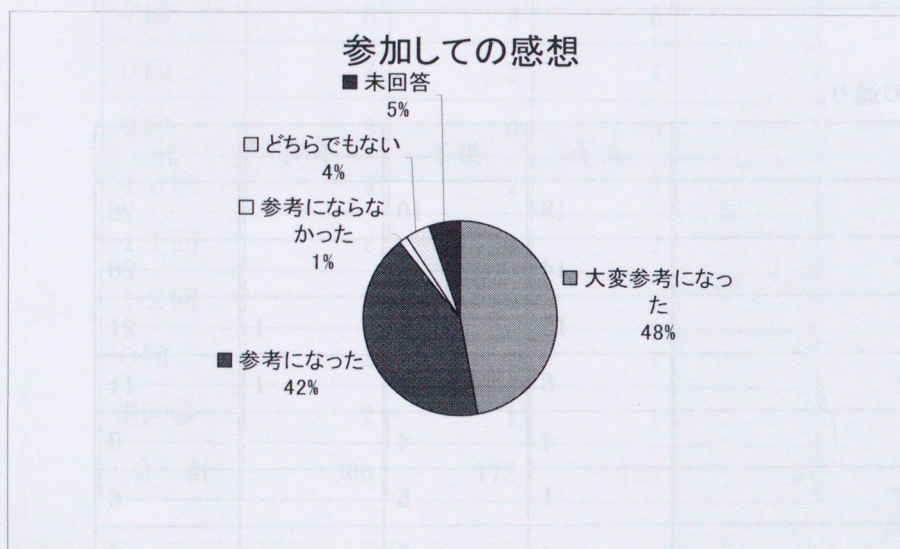
	女子	男子	不明	計
刺身	14	2	2	18
煮魚	7	5		12
焼き魚	8	8	1	17
骨がある料理	4	0		4

魚種では、以下の通り。

	女子	男子	不明	計
サバ	2	5		7
サンマ	4	3		7
サケ	3	1		4
ウナギ	3	1		4
タイ	2	1		3

(5) 今日の「食育おさかな学習会」に参加しての感想では、

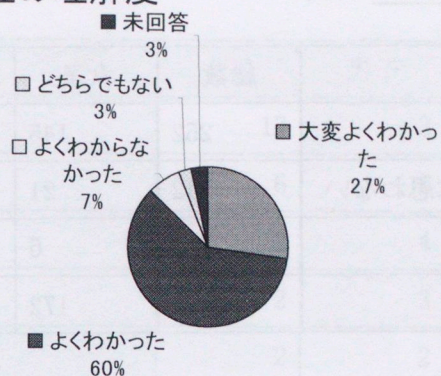
	総数	女子	男子	不明
大変参考になった	144	88	55	1
参考になった	129	66	60	3
参考にならなかった	4	2	2	
どちらでもない	13	6	7	
未回答	16	10	5	1
合計	306	172	129	5



水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについては、

	総数	女子	男子	不明
大変よくわかった	84	45	38	1
よくわかった	183	108	73	2
よくわからなかった	21	9	11	1
どちらでもない	8	5	3	
未回答	10	5	4	1
合計	306	172	129	5

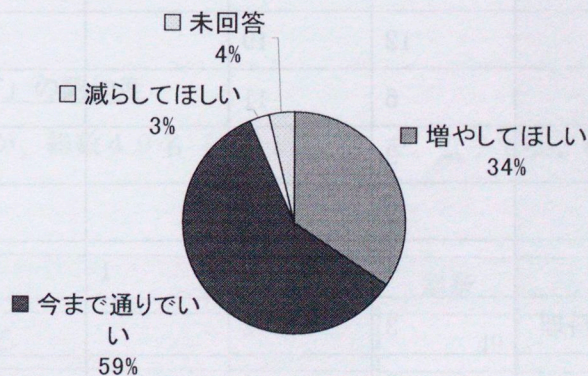
水産物の特性の理解度



今後家庭で魚料理を、増やして欲しいでは、

	総数	女子	男子	不明
増やしてほしい	105	61	42	2
今まで通りでいい	181	97	82	2
減らしてほしい	9	7	2	
未回答	11	7	3	1
合計	306	172	129	5

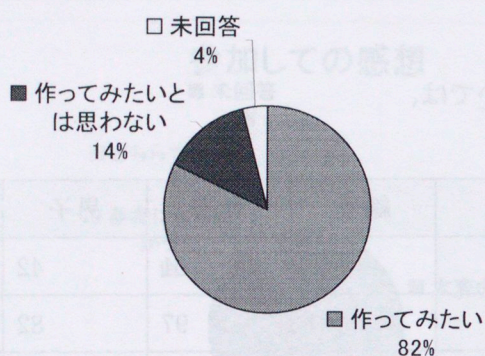
今後家庭で魚料理を



今後家庭で魚料理を、作ってみたいかでは、

	総数	女子	男子	不明
作ってみたい	252	145	103	4
作ってみたいとは思わない	42	21	21	
未回答	12	6	5	1
合計	306	172	129	5

今後家庭で魚料理を



今後家庭で食べてみたい魚料理は、

	女子	男子	不明	計
刺身	20	21		41
焼き魚	12	19		31
寿司	6	11		17
煮魚	9	5		14
今日作った料理	9	3		12
フライ	4	2	1	7
嫌い、苦手だった料理	3	2		5
美味しい料理	3	1		4
ハンバーグ	2	1		3
揚げ物	2	1		3

魚種では、以下の通り。

	女子	男子	計
サンマ	17	3	20
サバ	6	1	7
マグロ	2	4	6
サケ	2	3	5
エビ	2	2	4
ホッキ	4	0	4
ホタテ	1	2	3
カレイ	2	1	3
イカ	2	1	3

意見、感想は、以下の通り。

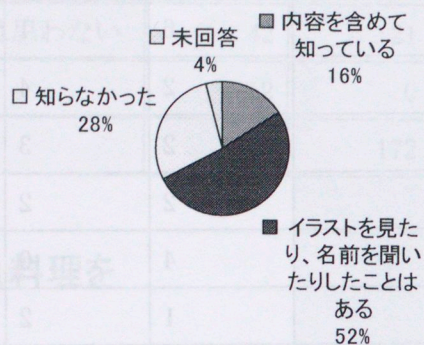
	女子	男子	計
楽しかった、ありがとうございました、また来て下さい	19	10	29
美味しかった、上手に出来た	14	6	20
魚のことがよくわかった、勉強になった	5	2	7
魚料理を自分で作りたい	3		3
魚の切り方、捌き方がわかった	3		3
捌くのがむずかしかった	2		2

(6) 「食事バランスガイド」の認知度

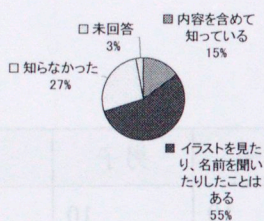
「内容を含め知っている」が、総数49名（16.0%）で、女子では26名（15.1%）、男子では23名（17.8%）だった。

	総数	女子	男子	不明
内容を含めて知っている	49	26	23	
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	157	94	60	3
知らなかった	87	47	40	
未回答	13	5	6	2
合計	306	172	129	5

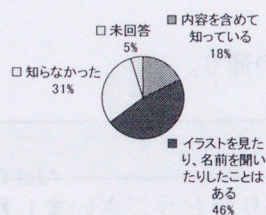
「食事バランスガイド」の認知度(全体)



「食事バランスガイド」の認知度(女子)



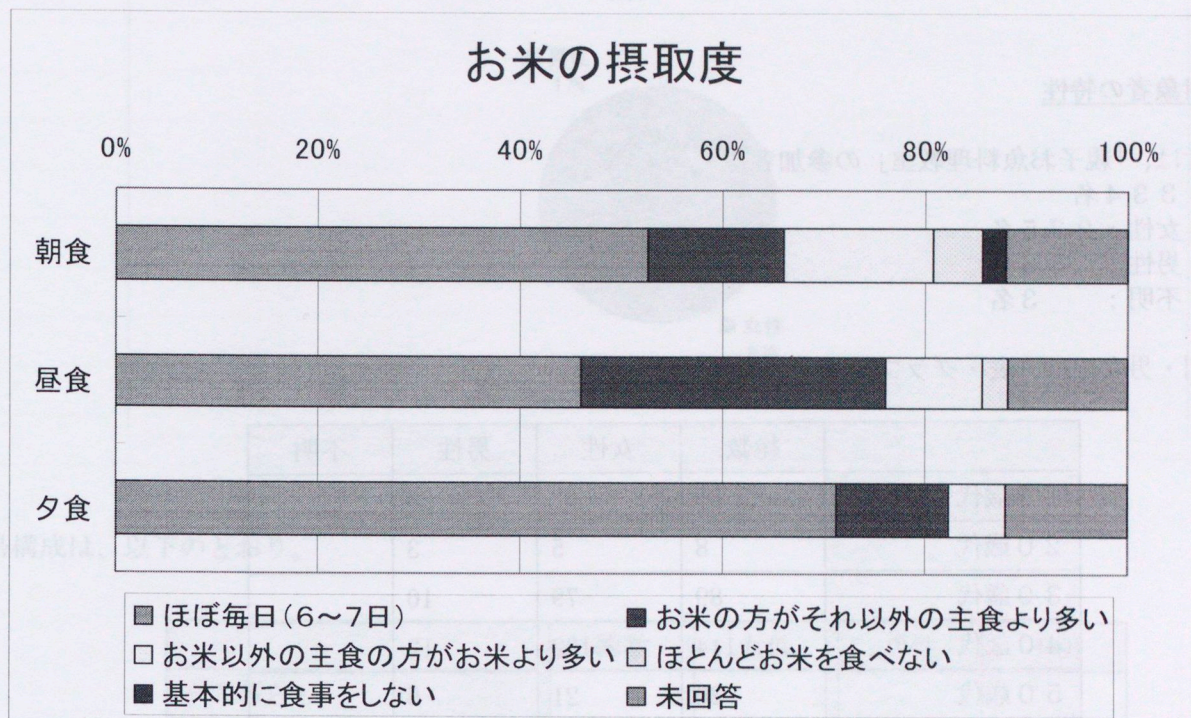
「食事バランスガイド」の認知度(男子)



「内容を含め知っている」と回答した人49名の「食事バランスガイド」をどのように役立てているのかの一番近いものという問いに対しては、以下の通り。

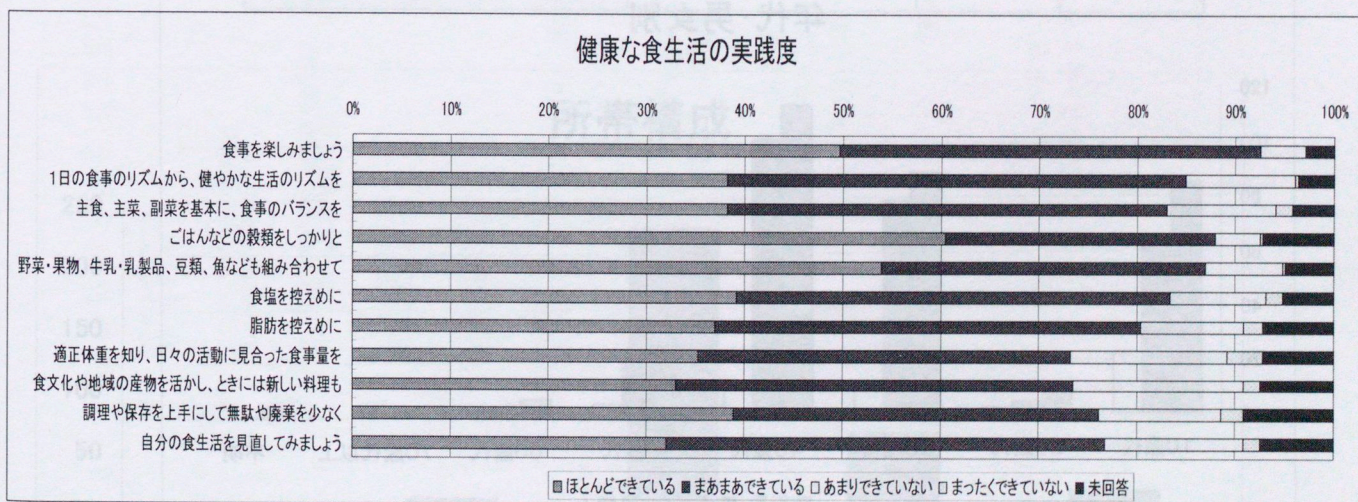
	総数	女子	男子
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	11	3	8
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	5	4	1
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	7	2	5
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	2	2	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	8	6	2
内容まで知ってはいるが、役立てていない	12	7	5
未回答	4	2	2
合計	49	26	23

(7) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、以下の通り。



(8) 「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、以下の通り。

総ての項目で「ほとんどできている」、「まあまあできている」で70%を超えている。



平成21年度につぼん食育推進事業
 (主菜摂取改善対策事業)
 「親子お魚料理教室」アンケート調査結果報告
 成人

(1) 対象者の特性

対象者は、「親子お魚料理教室」の参加者。

総数：334名

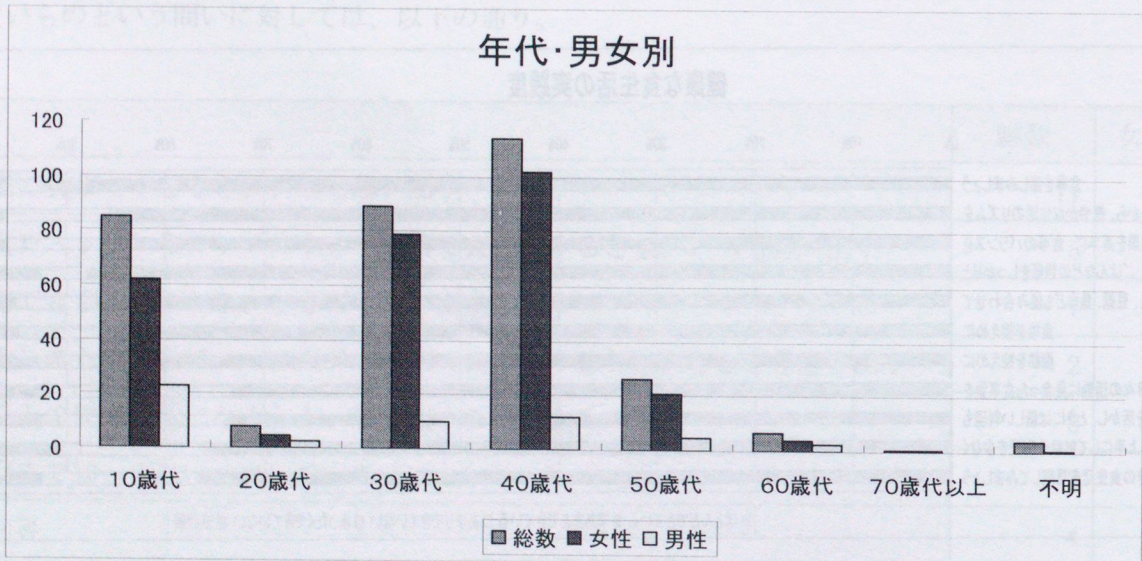
女性：275名

男性：56名

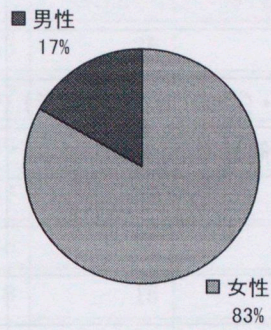
不明：3名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

	総数	女性	男性	不明
10歳代	85	62	23	
20歳代	8	5	3	
30歳代	89	79	10	
40歳代	114	102	12	
50歳代	26	21	5	
60歳代	7	4	3	
70歳代以上	1	1	0	
不明	4	1	0	3
合計	334	275	56	3



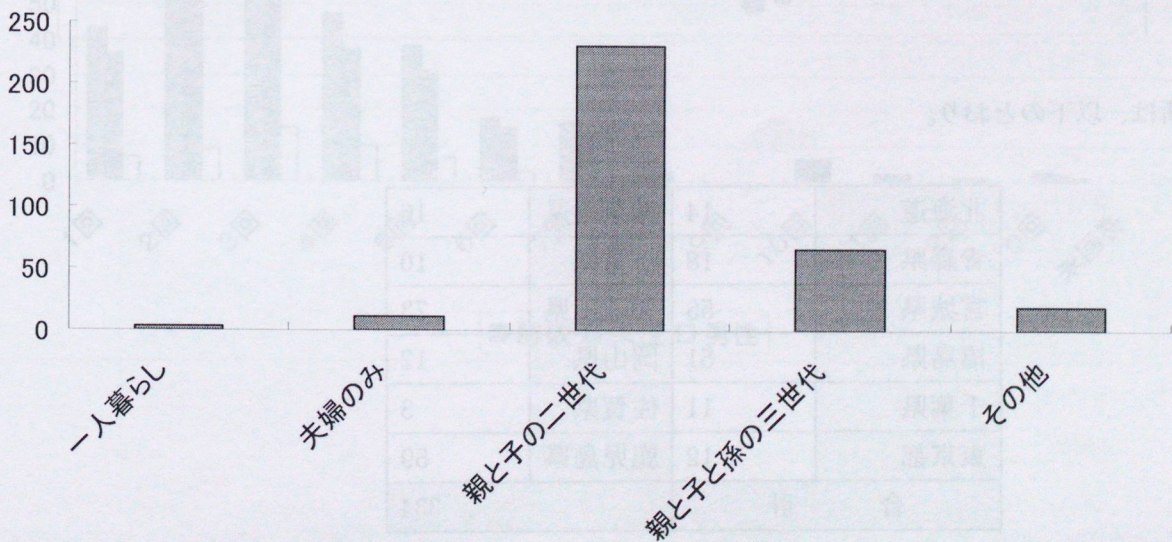
男女比



所帯構成は、以下のとおり。

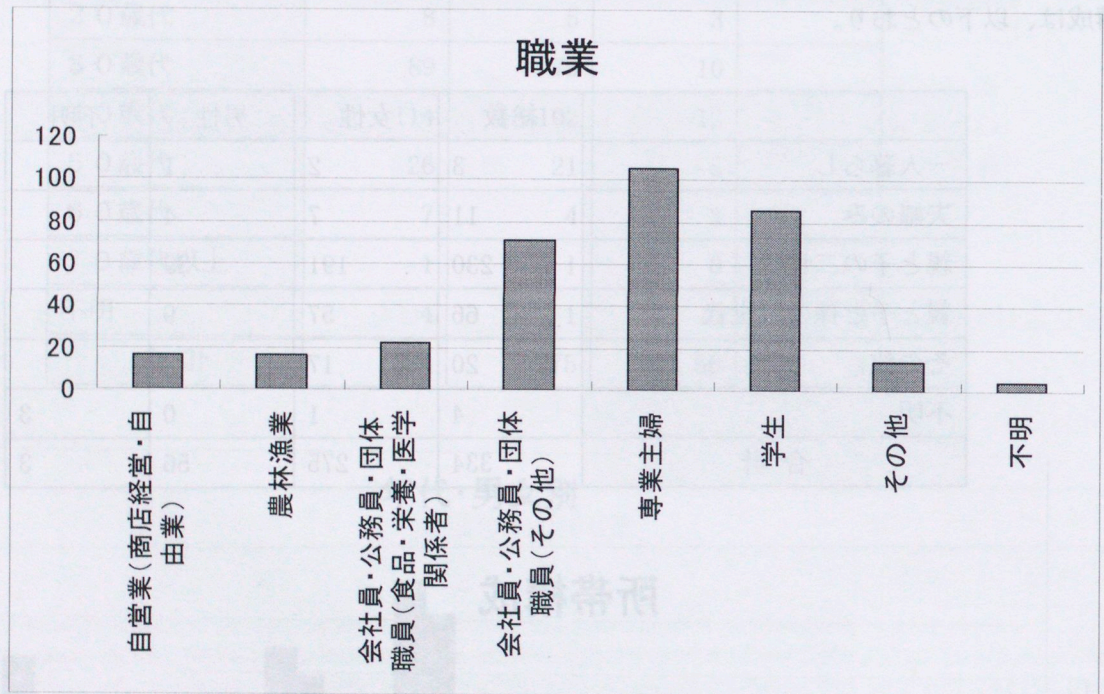
	総数	女性	男性	不明
一人暮らし	3	2	1	
夫婦のみ	11	7	4	
親と子の二世帯	230	191	39	
親と子と孫の三世帯	66	57	9	
その他	20	17	3	
不明	4	1	0	3
合計	334	275	56	3

所帯構成



職業は、以下のとおりで、学生が、99%を占める。

	総数	女性	男性	不明
自営業（商店経営・自由業）	16	13	3	
農林漁業	16	16	0	
会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）	22	16	6	
会社員・公務員・団体職員（その他）	71	48	23	
専業主婦	105	105	0	
学生	86	63	23	
その他	14	13	1	
不明	4	1	0	3
合 計	334	275	56	3



現住所は、以下のとおり。

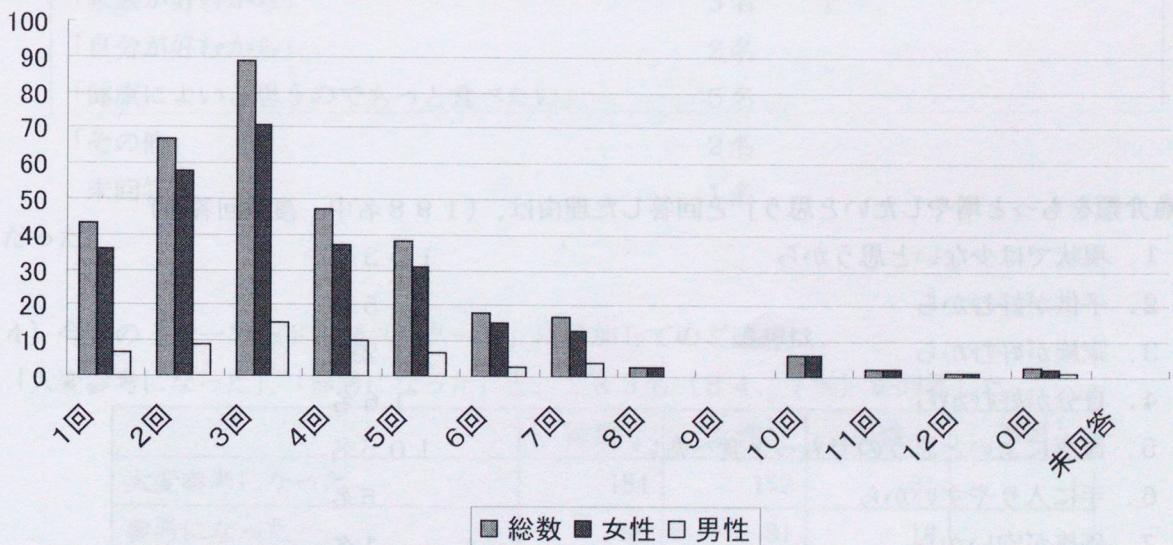
北海道	14	神奈川県	16
青森県	18	三重県	10
宮城県	55	和歌山県	73
福島県	51	岡山県	12
千葉県	11	佐賀県	3
東京都	12	鹿児島県	59
合 計			334

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均3.49回/週、女性は平均3.52回/週、男性は3.41回/週と、差は余り無かった。

	総数	女性	男性	不明
1回	43	36	7	
2回	67	58	9	
3回	89	71	15	3
4回	47	37	10	
5回	38	31	7	
6回	18	15	3	
7回	17	13	4	
8回	3	3	0	
9回	0	0	0	
10回	6	6	0	
11回	2	2	0	
12回	1	1	0	
0回	3	2	1	
未回答	0	0	0	
合計	334	275	56	3

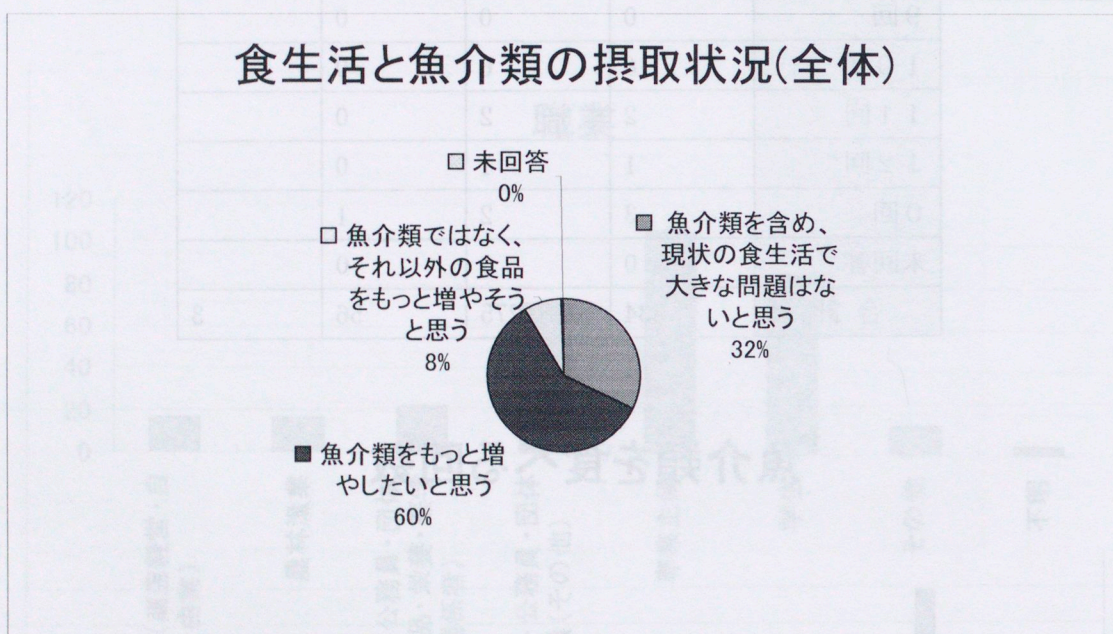
魚介類を食べる回数



(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況を見て、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が198名で、全体の約59.3%、「魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う」は108名で、全体の32.3%を占めた。

	総数	女性	男性	不明
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	108	81	26	1
魚介類をもっと増やしたいと思う	198	170	26	2
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	27	23	4	
未回答	1	1	0	
合計	334	275	56	3



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(198名中、複数回答可)

- | | |
|----------------------|------|
| 1. 現状では少ないと思うから | 103名 |
| 2. 子供が好むから | 5名 |
| 3. 家族が好むから | 12名 |
| 4. 自分が好むから | 16名 |
| 5. 健康によいと思うのでもっと食べたい | 105名 |
| 6. 手に入りやすいから | 5名 |
| 7. 価格が安いから | 1名 |
| 8. その他 | 4名 |
| 未回答 | 9名 |

と、「現状では少ないと思うから」、「健康によいと思うのでもっと食べたい」の回答が50%を超え、圧倒的に多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(103名中、複数回答可)

1. 子供が好まない	36名
2. 家族が好まない	7名
3. 実は私があまり好きでない	18名
4. 価格が高い	19名
5. 料理(調理)方法がわからない	14名
6. 料理(調理)方法が面倒である	35名
7. 食べるのに手間がかかる	23名
8. 片づけが面倒である	11名
9. 安全・安心が確認できない	1名
10. その他	4名
未回答	9名

と、「子供が好まない」、「料理(調理)方法が面倒である」、「食べるのに手間がかかる」の回答が多かった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した27名は、(複数回答可)

「肉類をもっと増やしたい」	6名
「野菜類を増やしたい」	21名
「ご飯や主食を増やしたい」	0名

と回答し、その理由は(複数回答可)

「栄養のバランスを取るため」	15名
「子供が好むから」	2名
「家族が好むから」	3名
「自分が好むから」	2名
「健康によいと思うのでもっと食べたい」	5名
「その他」	2名
未回答	1名

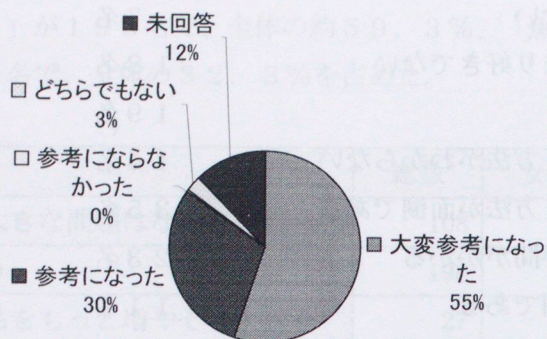
だった。

(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、

「大変参考になった」、「参考になった」と、283名(84.7%)が回答した。

	総数	女性	男性	不明
大変参考になった	184	152	31	1
参考になった	99	81	18	
参考にならなかった	1	0	1	
どちらでもない	9	8	1	
未回答	41	34	5	2
合計	334	275	56	3

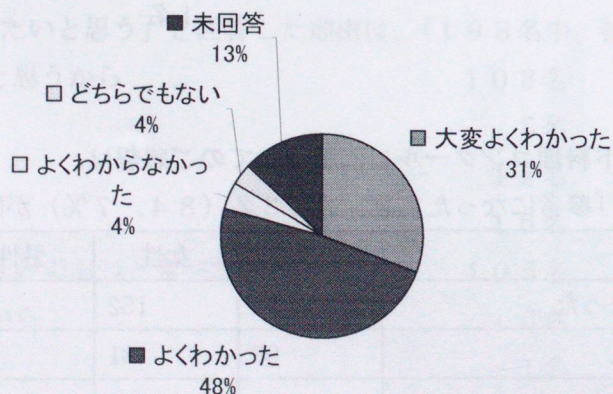
参加しての感想



「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には「大変よくわかった」、「よくわかった」と、264名（79.0%）が回答した。

	総数	女性	男性	不明
大変よくわかった	103	87	15	1
よくわかった	161	137	24	
よくわからなかった	14	7	7	
どちらでもない	12	8	4	
未回答	44	36	6	2
合計	334	275	56	3

水産物の特性の理解度

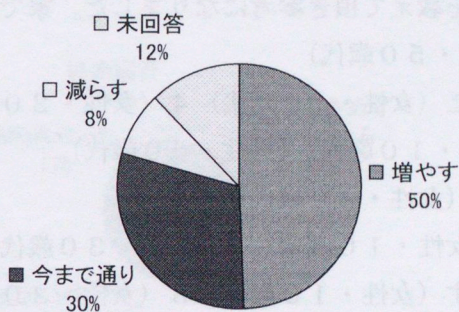


「今後家庭で魚料理を」では、

「増やす」と、165名（49.4%）と約半数が回答した。

	総数	女性	男性	不明
増やす	165	152	12	1
今まで通り	100	83	17	
減らす	28	2	26	
未回答	41	38	1	2
合計	334	275	56	3

今後の魚料理の増減



「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

	女性	男性	計
刺身	9	10	19
煮魚	14	0	14
焼き魚	10	2	12
鍋料理	3	4	7
ムニエル	6	0	6
寿司	2	2	4
野菜も同時に摂れる料理	4	0	4
つみれ	4	0	4
フライ	1	3	4
魚ハンバーグ	4	0	4
洋風料理	4	0	4

魚種では、

	女性	男性	計
サンマ	6	0	6
イカ	2	2	4
サバ	3	1	4
青魚	3	1	4
白身魚	2	1	3

「意見」、「感想」は、以下の通り。

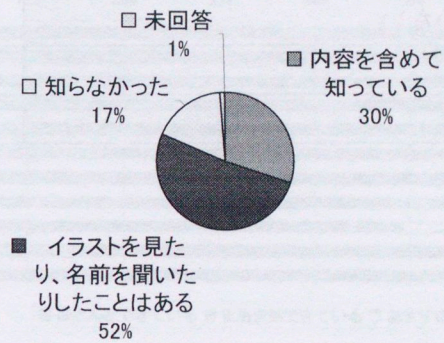
- ・漁師の方と一緒に料理が出来て、捌き方や調理法などとても参考になった（女性・40歳代）
- ・詳しく魚料理の仕方等がわかってとても良かった（女性・40歳代）（男性・40歳代）
- ・普段作る機会がない料理を教えて頂き参考になりました。家でも作ってみたいと思います（女性・40歳代）（男性・50歳代）
- ・魚の捌き方が参考になった（女性・10歳代）4（女性・20歳代）（女性・30歳代）（女性・50歳代）（男性・10歳代）（男性・60歳代）
- ・もっと魚料理を覚えたい（女性・40歳代）
- ・たいへん勉強になった（女性・10歳代）2（女性・30歳代）（男性・10歳代）（男性・50歳代）
- ・とても楽しく、大満足です（女性・10歳代）3（女性・30歳代）3（女性・40歳代）7（女性・60歳代）（女性・70歳代）（男性・60歳代）
- ・食生活を見直すきっかけにします（女性・10歳代）
- ・実際に教わると簡単に作れると思った（女性・40歳代）
- ・アナゴの骨を唐揚げにしたことに驚いた（女性・30歳代）
- ・またこのような機会があったら参加したい（女性・30歳代）2（女性・40歳代）（男性・30歳代）（男性・40歳代）
- ・子供が積極的に参加して良かった（女性・40歳代）4（男性・40歳代）2
- ・煮魚が苦手なので、美味しい料理法を知りたい（女性・20歳代）（女性・30歳代）
- ・今日の料理を家族に食べさせたい（女性・40歳代）（女性・50歳代）
- ・今日習った「タタキ」を自分で作ってみたい（女性・20歳代）
- ・お母さんが魚好きなら、子供も好きになると思う（女性・40歳代）
- ・カキを食べない子供がグラタンを喜んで食べていた、感激です（女性・40歳代）
- ・お肉料理と同様に料理全般に魚を入れていきたい（女性・40歳代）
- ・量が多すぎた（女性・40歳代）（女性・50歳代）
- ・私は魚介類が食べられない（女性・10歳代）

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

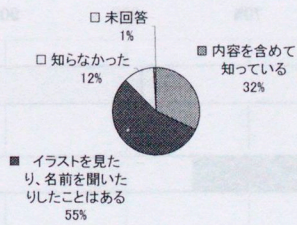
「内容を含めて知っている」が、総数100名(30.0%)で、女性では87名(31.6%)、男性では12名(21.4%)だった。

	総数	女性	男性	不明
内容を含めて知っている	100	87	12	1
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	172	154	17	1
知らなかった	58	32	26	
未回答	4	2	1	1
合計	334	275	56	3

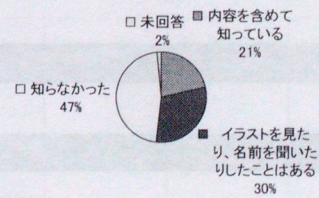
食事バランスガイドの認知度(全体)



食事バランスガイドの認知度(女性)



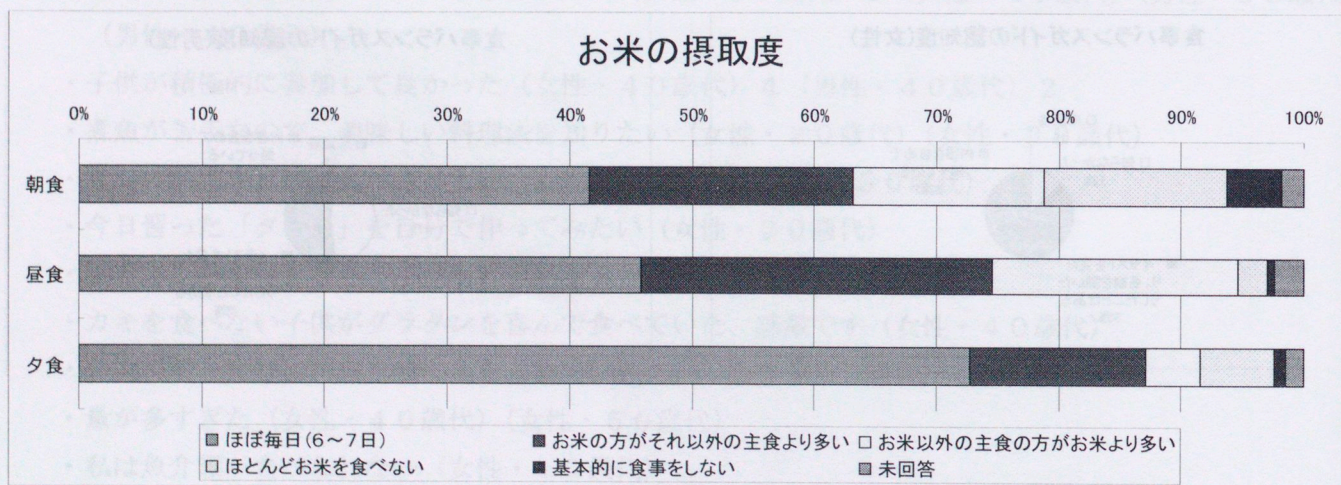
食事バランスガイドの認知度(男性)



「内容を含め知っている」と回答した人の「食事バランスガイド」をどのように役立てているか、一番近いものという問いに対しては、以下の通り。

	総数	女性	男性	不明
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	26	25	1	
食品を買うとき、いつも参考にしている	1	1	0	
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	16	13	2	1
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	1	0	1	
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	10	10	0	
食品を買うとき、ときどき参考にしている	3	3	0	
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	6	5	1	
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	1	1	0	
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	14	13	1	
内容まで知ってはいるが、役立っていない	20	14	6	
未回答	2	2	0	
合 計	100	87	12	1

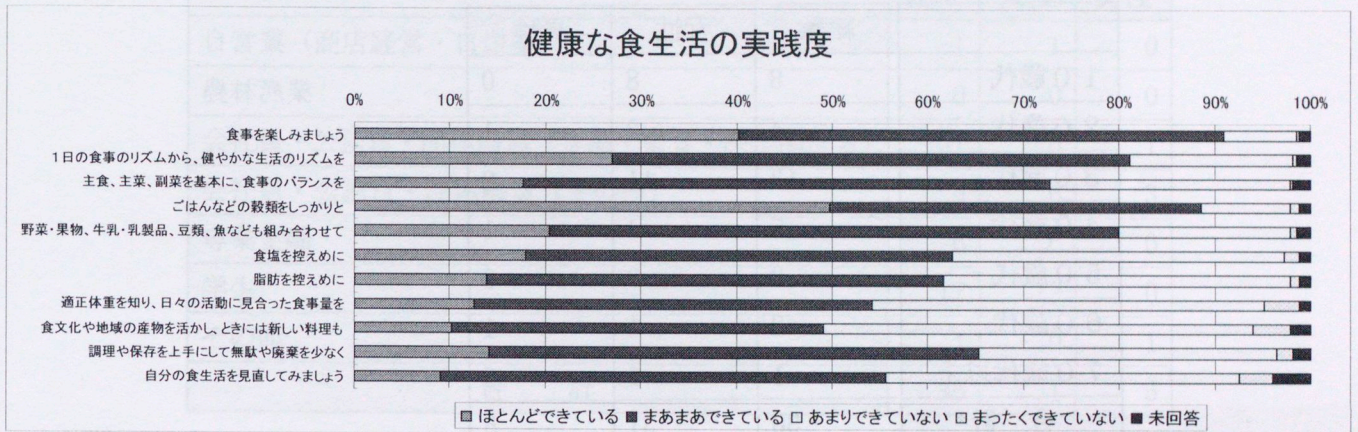
(6) 「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、夕食では、「ほぼ毎日」が243名と、72.8%であった。



(7)「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、

「食塩を控えめに」	116名 (34.7%)
「脂肪を控えめに」	120名 (35.9%)
「適正体重を知り、日々の活動に見合った食事を」	137名 (41.0%)
「食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も」	150名 (44.9%)
「調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく」	104名 (31.3%)
「自分の食生活を見直してみましよう」	123名 (36.8%)

の項目で、「あまりできていない」が多かった。



(1) 対象者の特性

対象者は、「シーフード料理コンクール」の参加者。

総数：36名

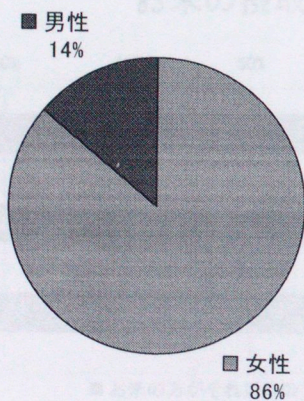
女性：31名

男性：5名

年齢別・男女比は、表・グラフのような構成。

	総数	女性	男性
10歳代	8	8	0
20歳代	4	3	1
30歳代	13	11	2
40歳代	5	4	1
50歳代	3	3	0
60歳代	2	1	1
70歳代以上	1	1	0
合計	36	31	5

男女比

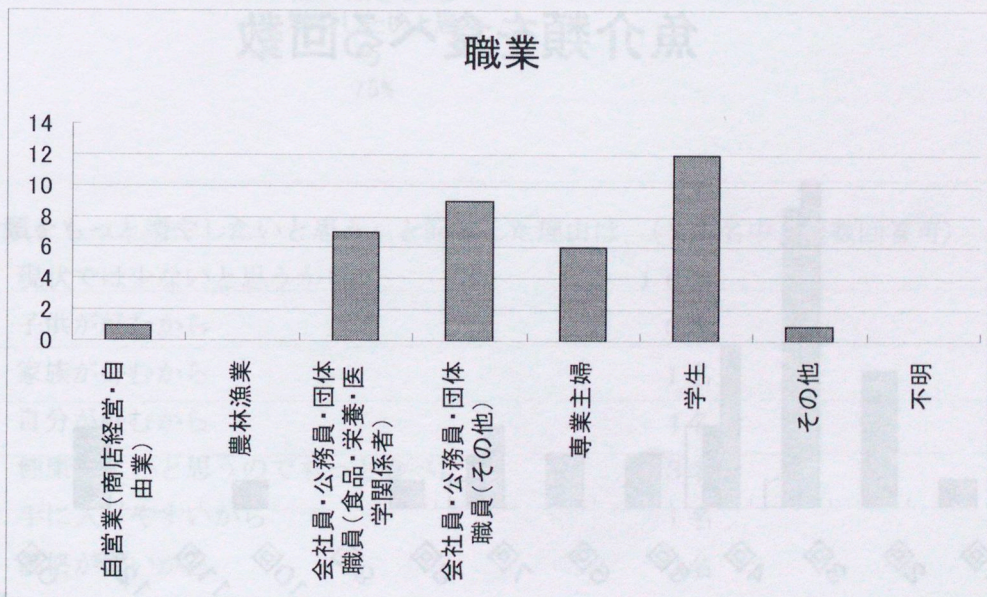


所帯構成は、以下のとおり。

	総数	女性	男性
一人暮らし	5	3	2
夫婦のみ	5	3	2
親と子の二世帯	17	17	0
親と子と孫の三世帯	9	8	1
その他	0	0	0
合計	36	31	5

職業は、以下のとおり。

	総数	女性	男性
自営業（商店経営・自由業）	1	1	0
農林漁業	0	0	0
会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）	7	6	1
会社員・公務員・団体職員（その他）	9	6	3
専業主婦	6	6	0
学生	12	12	0
その他	1	0	1
合計	36	31	5



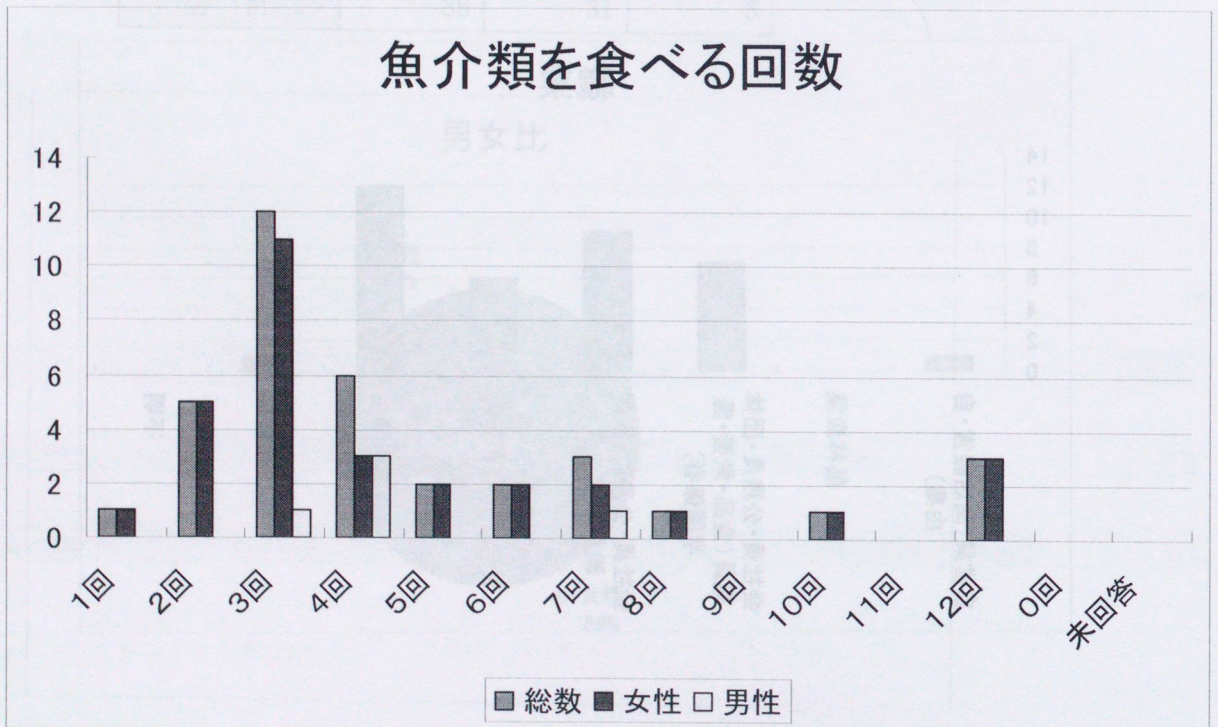
現住所は、以下のとおり。

宮城県	4名	千葉県	2名	静岡県	4名	高知県	2名
山形県	2名	東京都	5名	三重県	5名	福岡県	1名
福島県	1名	神奈川県	1名	大阪府	1名	熊本県	3名
埼玉県	2名	富山県	1名	香川県	1名	宮崎県	1名

(2) 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。

全体で平均4.69回/週、女性は平均4.71回/週、男性は4.60回/週と、差は余り無かった。

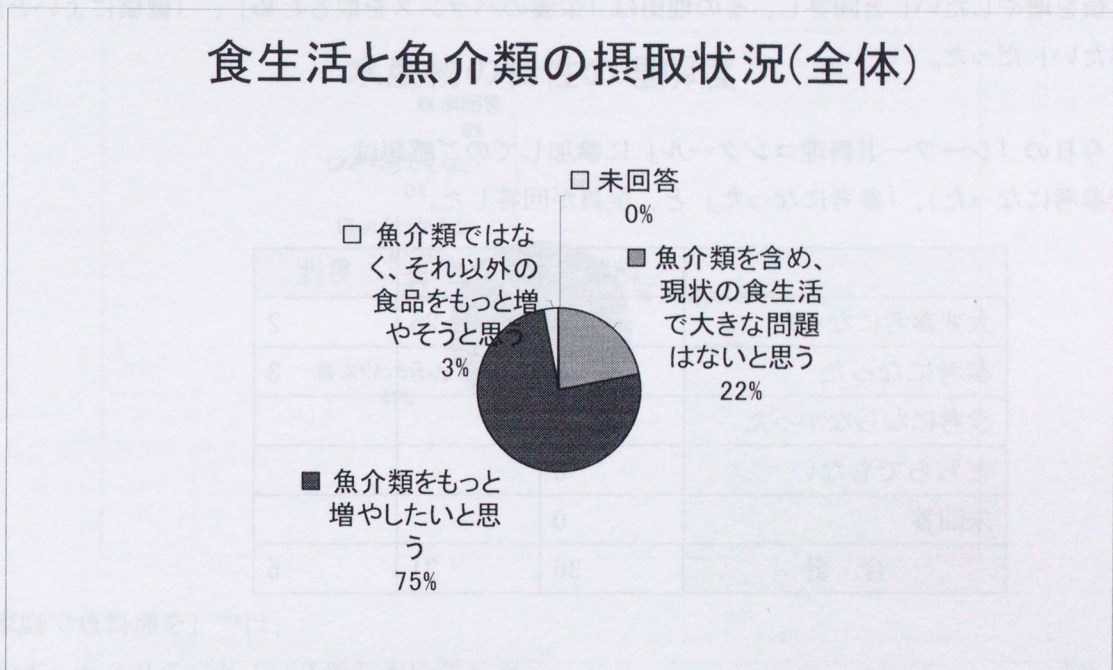
回数	総数	女性	男性
1回	1	1	0
2回	5	5	0
3回	12	11	1
4回	6	3	3
5回	2	2	0
6回	2	2	0
7回	3	2	1
8回	1	1	0
9回	0	0	0
10回	1	1	0
11回	0	0	0
12回	3	3	0
0回	0	0	0
合計	36	31	5



(3) 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況をみて、どう思いますか？

「魚介類をもっと増やしたいと思う」が27名で、全体の75%を占めた。

	総数	女性	男性
魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題はないと思う	8	6	2
魚介類をもっと増やしたいと思う	27	24	3
魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う	1	1	0
未回答	0	0	0
合 計	36	31	5



「魚介類をもっと増やしたいと思う」と回答した理由は、(27名中、複数回答可)

- | | |
|----------------------|-----|
| 1. 現状では少ないと思うから | 16名 |
| 2. 子供が好むから | 0名 |
| 3. 家族が好むから | 1名 |
| 4. 自分が好むから | 4名 |
| 5. 健康によいと思うのでもっと食べたい | 23名 |
| 6. 手に入りやすいから | 1名 |
| 7. 価格が安いから | 0名 |
| 8. その他 | 1名 |

と、「健康によいと思うのでもっと食べたい」、「現状では少ないと思うから」の回答が多かった。

「現状では少ないと思うから」と回答した理由は、(16名中、複数回答可)

- | | |
|-----------------|----|
| 1. 子供が好まない | 3名 |
| 2. 家族が好まない | 0名 |
| 3. 実は私があまり好きでない | 0名 |

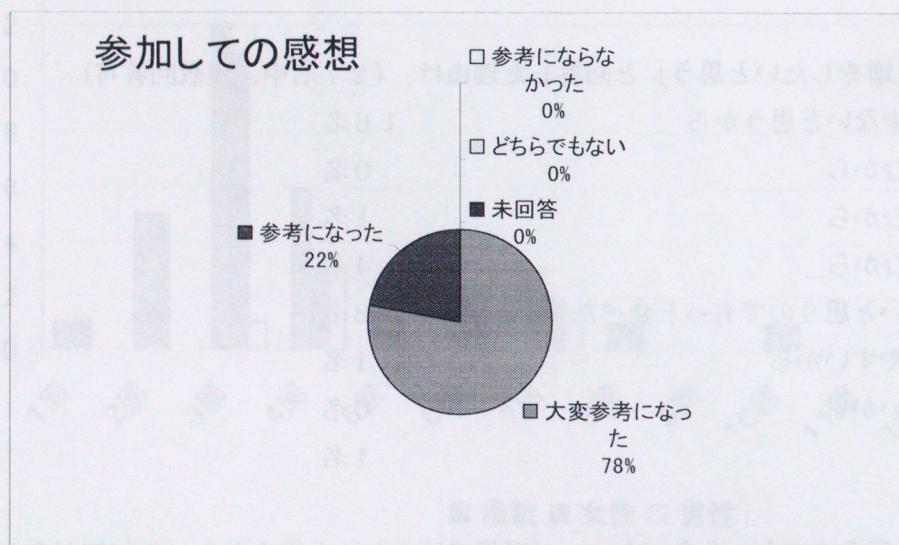
4. 価格が高い	7名
5. 料理（調理）方法がわからない	6名
6. 料理（調理）方法が面倒である	5名
7. 食べるのに手間がかかる	6名
8. 片づけが面倒である	1名
9. 安全・安心が確認できない	0名
10. その他	3名
未回答	1名

だった。

「魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」と回答した1名は、「野菜類を増やしたい」と回答し、その理由は「栄養のバランスを取るため」、「健康によいと思うのもっと食べたい」だった。

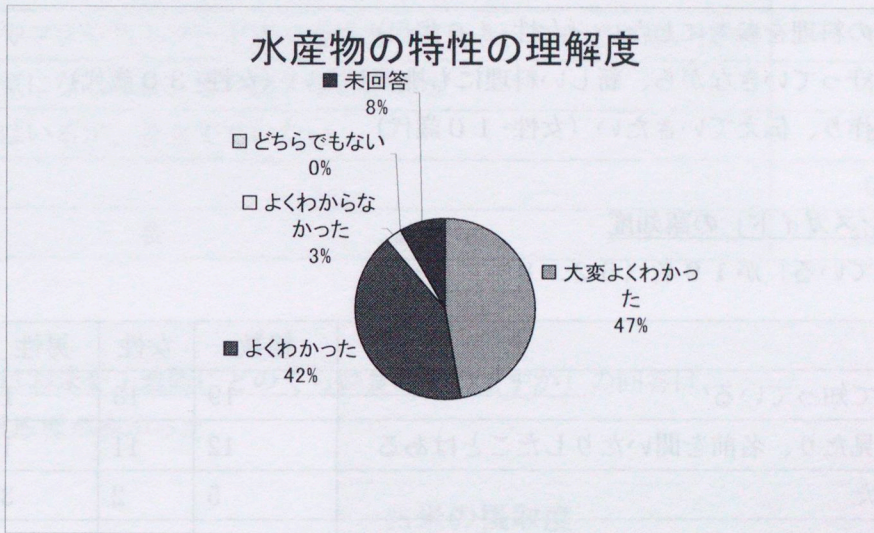
(4) 今日の「シーフード料理コンクール」に参加してのご感想は、「大変参考になった」、「参考になった」と、全員が回答した。

	総数	女性	男性
大変参考になった	28	26	2
参考になった	8	5	3
参考にならなかった	0		
どちらでもない	0		
未回答	0		
合計	36	31	5



「水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて」には「大変よくわかった」、「よくわかった」が32名（89.9%）だった。

	総数	女性	男性
大変よくわかった	17	14	3
よくわかった	15	13	2
よくわからなかった	1	1	0
どちらでもない	0	0	0
未回答	3	3	0
合計	36	31	5



「今後家庭で魚料理を」では、「増やす」と22名（61.1%）が回答した。

	総数	女性	男性
増やす	22	21	1
今まで通り	13	9	4
減らす	0	0	0
未回答	1	1	0
合計	36	31	5

「今後どのような魚料理を食べてみたいですか」の回答は、以下の通り。

- ・サバの味噌煮（女性・20歳代）
- ・シイラ（男性・30歳代）
- ・魚かりんとう（女性・20歳代）
- ・グラタン（女性・10歳代）
- ・鍋料理（女性・30歳代）
- ・副菜の野菜と組み合わせ、子供が食べやすい料理（女性・30歳代）

- ・おいしい魚料理（女性・10歳代）（女性・30歳代）
- ・シンプルな魚料理（女性・10歳代）（女性・30歳代）（女性・50歳代）
- ・創作料理（女性・40歳代）
- ・食べやすい魚料理（女性・10歳代）
- ・珍しい魚（女性・30歳代）
- ・普段食べない魚で、よく売られている魚（女性・30歳代）
- ・生を醤油以外の食べ方で（女性・30歳代）
- ・他県で水揚げされた魚（女性・40歳代）

「意見」、「感想」は、以下の通り。

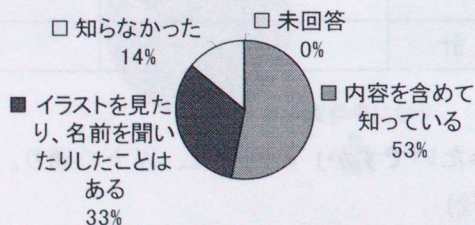
- ・お魚のことが大変勉強になり、とても良かった（女性・30歳代）
- ・コンクールの料理を参考にしたい（女性・10歳代）
- ・郷土料理を守っていきながら、新しい料理にも挑戦したい（女性・30歳代）
- ・祖母の味を作り、伝えていきたい（女性・10歳代）

(5) 「食事バランスガイド」の認知度

「内容を含め知っている」が19名（52.8%）だった。

	総数	女性	男性
内容を含めて知っている	19	18	1
イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある	12	11	1
知らなかった	5	2	3
未回答	0	0	0
合 計	36	31	5

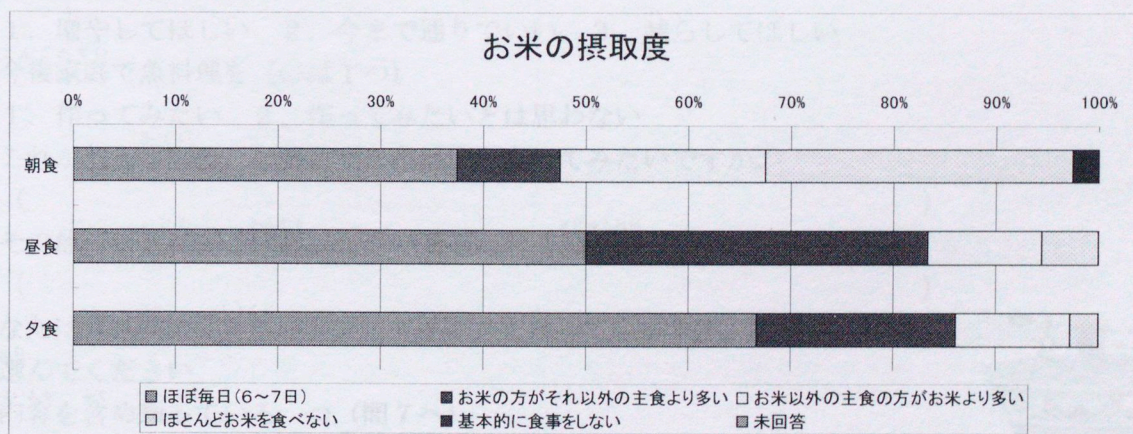
食事バランスガイドの認知度(全体)



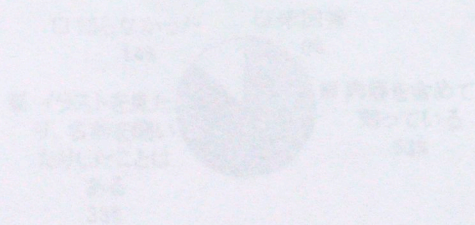
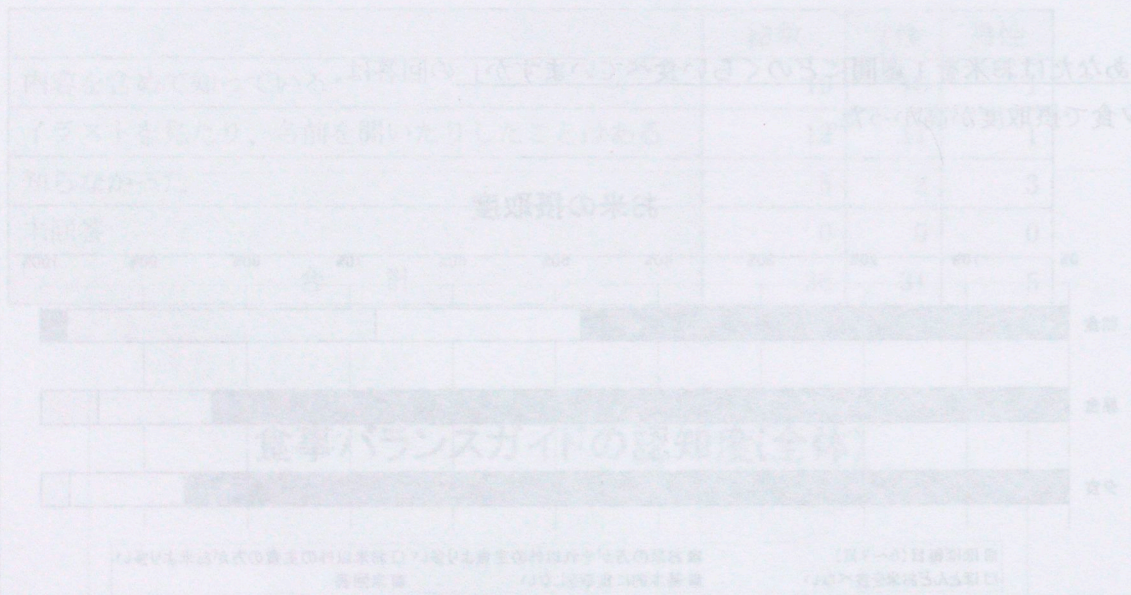
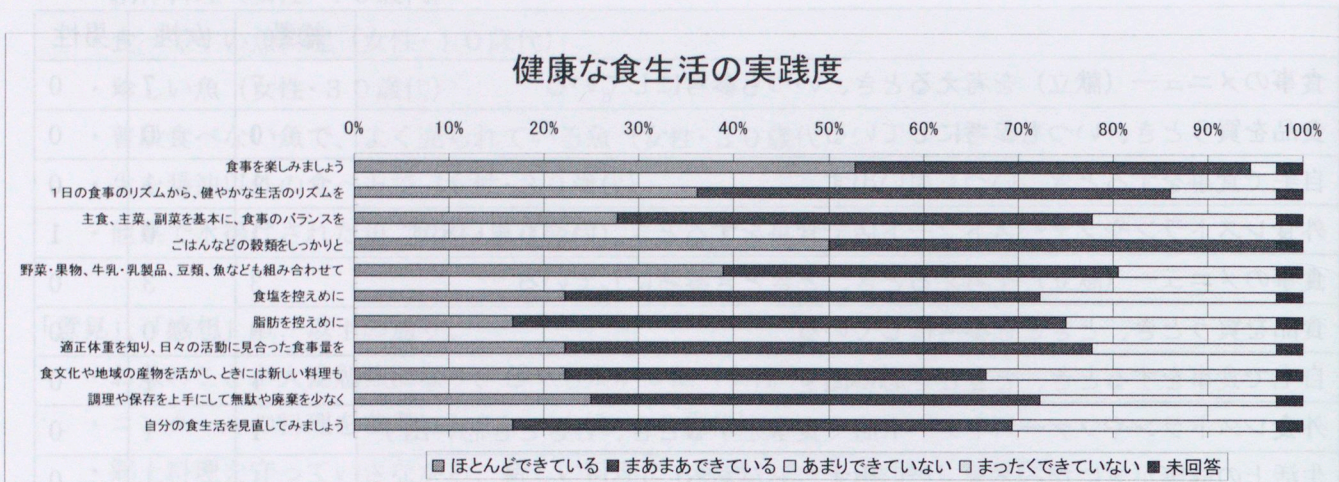
「内容を含め知っている」と回答した人（19名）の「食事バランスガイド」をどのように役立てているか
 ね一番近いものの問いに対しては、以下の通り。

	総数	女性	男性
食事のメニュー（献立）を考えると、いつも参考にしている	7	7	0
食品を買うとき、いつも参考にしている	0	0	0
自宅で食事をするとき、いつも思い出す	1	1	0
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す	1	0	1
食事のメニュー（献立）を考えると、ときどき参考にしている	3	3	0
食品を買うとき、ときどき参考にしている	0	0	0
自宅で食事をするとき、ときどき思い出す	1	1	0
外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す	1	1	0
生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある	1	1	0
内容まで知ってはいるが、役立てていない	4	4	0
未回答	0	0	0
合 計	19	18	1

（6）「あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか」の回答は、
 昼食、夕食で摂取度が高かった。



(7)「あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか」の回答は、「ほとんどできている」、「まあまあできている」がほぼ70%以上を占めた。



アンケートのお願い (小学生用)

問1. 魚を食べることは、得意ですか。(〇は1つ)

1. 得意 2. 不得意 3. 普通 4. どちらとも言えない

問2. 問1で「2. 不得意」と答えた方にお伺いします。どのような理由からですか。

1. 骨があるから
2. はしが上手に使えないから
3. 魚料理がきらいだから
4. その他 ()

問3. 魚介類を食べる回数は、1週間平均して何回ぐらいですか。(〇は1つ)

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 6回 7. 7回 8. 8回
9. 9回 10. 10回 11. 11回 12. 12回以上 13. 0回

問4. すきな魚料理、きれいな魚料理があれば教えてください。

- すきな魚料理 ()
きれいな魚料理 ()

問5. 今日の「(事業名)」に参加してのご感想は (〇は1つ)

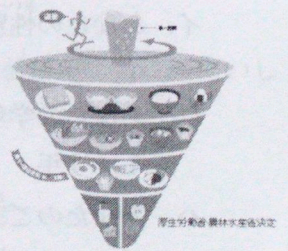
- イ. 1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. 参考にならなかった
4. どちらでもない
- ロ. 水産物の栄養が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて (〇は1つ)
1. 大変よくわかった 2. よくわかった 3. よくわからなかった
4. どちらでもない
- ハ. 今後家庭で魚料理を (〇は1つ)
1. 増やしてほしい 2. 今まで通りでいい 3. 減らしてほしい
- ニ. 今後家庭で魚料理を (〇は1つ)
1. 作ってみたい 2. 作ってみたいとは思わない
- ホ. これからも家庭で、どのような魚料理を食べてみたいですか。
()
- ヘ. その他、ご意見、ご感想がございましたらご記入願います。
()

問6. あなたはコマ型の「食事バランスガイド」を知っていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 内容を含め知っている ⇒ (問7へ)
2. イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある ⇒ (問8へ)
3. 知らなかった ⇒ (問8へ)

問7. 問6で「1. 内容を含め知っている」と回答した方にうかがいます。「食事バランスガイド」をどのように役立てていますか。次のうちから一番近いものを1つ選んでください。

1. 自宅で食事をするとき、いつも思い出す。
2. 外食レストランやファーストフード店 (例：ハンバーガーショップ) で食事をするとき、いつも思い出す。
3. 自宅で食事をするとき、ときどき思い出す。
4. 外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す。
5. 食生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある。
6. 内容まで知ってはいるが、役立てていない。



問8. あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか。

3度の食事ごとに1つ選んで○をつけてください。

	ほぼ毎日 (6～7日)	お米の方が それ以外の主食より多い	お米以外の主食の 方がお米より多い	ほとんど お米を食べない	食べない
1. あさごはん					
2. ひるごはん					
3. ばんごはん					

問9. あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい行っていますか。

項目ごとに1つ選んで○をつけてください。(わからないところは空欄で良いです)

	ほとんど できている	まあまあ できている	あまりでき ていない	まったくで きていない
1. 食事を楽しみましょう				
2. 1日の食事のリズムから、健やかな生活のリズムを				
3. 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを				
4. ごはんなどの穀類をしっかりと				
5. 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせ				
6. 食塩を控えめに				
7. 脂肪を控えめに				
8. 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を				
9. 食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も				
10. 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく				
11. 自分の食生活を見直してみましょう				

問10. あなた自身についておたずねします。

イ. あなたの性別は

1. 男子 2. 女子

ロ. あなたの学年は

1. 4年 2. 5年 3. 6年

ハ. あなたのご家族の人数は、あなたを含めて何名ですか。

()名

ニ. 現在のお住まいは

()都・道・府・県 ()区・市・郡

—— 協力頂きまして、誠にありがとうございました ——

アンケートのお願い(成人用)

問1. 魚介類を食べる回数は、1週間で平均して何回ぐらいですか。(○は1つ)

1. 1回 2. 2回 3. 3回 4. 4回 5. 5回 6. 6回 7. 7回 8. 8回
9. 9回 10. 10回 11. 11回 12. 12回以上 13. 0回

問2. 普段の食生活の中で、ご自分の周りの子供たちの食生活と魚介類の摂取状況をみて、どう思いますか？

(○はひとつ)

1. 魚介類を含め、現状の食生活で大きな問題は無いと思う。 ⇒ (問5へ)
2. 魚介類をもっと増やしたいと思う。 ⇒ (問3へ)
3. 魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う。 ⇒ (問4へ)

問3-1. 問2で「2. 魚介類をもっと増やしたい」を選んだ方、その理由は何ですか？

(該当分に○、複数回答もOK)

1. 現状では少ないと思うから 2. 子供が好むから 3. 家族が好むから 4. 自分が好むから。
5. 健康によいと思うのでもっと食べたい 6. 手に入りやすいから 7. 価格が安いから
8. その他 ()

問3-2. 前問で「1. 現状では少ないと思うから」と答えた方にお聞きします。少ない理由は何ですか。

(○はいくつでも)

1. 子供が好まない。
2. 家族が好まない。
3. 実は私があまり好きでない。
4. 価格が高い。
5. 料理(調理)方法がわからない。
6. 料理(調理)方法が面倒である。
7. 食べるのに手間がかかる。
8. 片づけが面倒である。
9. 安全・安心が確認できない。
10. その他 ()

問4-1. 問2. で「3. 魚介類ではなく、それ以外の食品をもっと増やそうと思う」を選んだ方にお伺いします。


魚介料理以外に何をもっと増やしたいと思いますか？

1. 肉類をもっと増やしたい。
2. 野菜類を増やしたい。
3. ご飯や主食を増やしたい。
4. その他 () を増やしたい。

問4-2. 「魚介類以外」を増やしたい理由は何ですか？

(該当分に○、複数回答もOK)

1. 栄養のバランスを取るため 2. 子供が好むから 3. 家族が好むから 4. 自分が好むから
5. 健康によいと思うのでもっと食べたい 6. 手に入りやすいから 7. 価格が安いから
8. その他 ()

つぎへ 

問5. 今日の「(事業名)」に参加してのご感想は (○は1つ)

- イ. 1. 大変参考になった 2. 参考になった 3. 参考にならなかった
4. どちらでもない

ロ. 水産物の特性が食事バランスガイドの中で重要な役割を担っていることについて
(○は1つ)

1. 大変よくわかった 2. よくわかった 3. よくわからなかった
4. どちらでもない

ハ. 今後家庭で魚料理を (○は1つ)

1. 増やす 2. 今まで通り 3. 減らす

ニ. 今後どのような魚料理を食べてみたいですか。

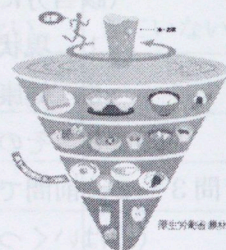
()

ホ. その他、ご意見、ご感想がございましたらご記入願います。

()

問6. あなたはコマ型の「食事バランスガイド」を知っていますか。次のうちから1つ選んでください。

1. 内容を含め知っている ⇒ (問7へ)
2. イラストを見たり、名前を聞いたりしたことはある ⇒ (問8へ)
3. 知らなかった ⇒ (問8へ)



問7. 問6で「1. 内容を含め知っている」と回答した方にうかがいます。「食事バランスガイド」をどのように役立っていますか。次のうちから一番近いものを1つ選んでください。

1. 食事のメニュー (献立) を考えるとき、いつも参考にしている。
2. 食品を買うとき、いつも参考にしている。
3. 自宅で食事をするとき、いつも思い出す。
4. 外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、いつも思い出す。
5. 食事のメニュー (献立) を考えるとき、ときどき参考にしている。
6. 食品を買うとき、ときどき参考にしている。
7. 自宅で食事をするとき、ときどき思い出す。
8. 外食レストランやファーストフード店で食事をするとき、ときどき思い出す。
9. 生活上の健康が気になるとき、思い出すことがある。
10. 内容まで知ってはいるが、役立っていない。

問8. あなたはお米を1週間にどのくらい食べていますか。3度の食事ごとに1つ選んで○をつけてください。

	ほぼ毎日 (6~7日)	お米の方がそれ以外 の主食より多い	お米以外の主食の 方がお米より多い	ほとんどお米を 食べない	基本的に食事を しない
1. 朝食					
2. 昼食					
3. 夕食					

問9. あなたは健康な食生活の上で大切とされる次の10項目をどのくらい実践していますか。
項目ごとに1つ選んで○をつけてください。

	ほとんど できている	まあまあ できている	あまりでき ていない	まったくで きていない
1. 食事を楽しみましょう				
2. 1日の食事のリズムから、健やかな生活のリズムを				
3. 主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを				
4. ごはんなどの穀類をしっかりと				
5. 野菜・果物、牛乳・乳製品、豆類、魚なども組み合わせて				
6. 食塩を控えめに				
7. 脂肪を控えめに				
8. 適正体重を知り、日々の活動に見合った食事量を				
9. 食文化や地域の産物を活かし、ときには新しい料理も				
10. 調理や保存を上手にして無駄や廃棄を少なく				
11. 自分の食生活を見直してみましょう				

問10. あなた自身についておたずねします。

1. あなたの性別は

1. 男性 2. 女性

2. あなたの年齢は

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳以上

3. あなたのご家庭の世帯構成はどのようになっていますか。

1. 一人暮らし 2. 夫婦のみ 3. 親と子の二世帯
4. 親と子と孫の三世帯 5. その他

4. あなたの現在の職業は、次のどちらにあたりますか。

1. 自営業（商店経営・自由業等）
2. 農林漁業
3. 会社員・公務員・団体職員（食品・栄養・医学関係者）
4. 会社員・公務員・団体職員（その他）
5. 専業主婦
6. 学生
7. その他（ ）

5. 現在のお住まいは

（ ）都・道・府・県 （ ）区・市・郡

—— ご協力頂きまして、誠にありがとうございました ——

